

令和2年度

久留米市教育施策要綱案



3密を避けた給食・手洗い場の様子

久留米市教育委員会

はじめに

久留米市は「水と緑の人間都市」を都市づくりの基本理念に、「誇りがもてる美しい都市 久留米」「市民一人ひとりが輝く都市 久留米」「活力あふれる中核都市 久留米」の3つの都市像を目指す都市の姿として掲げ、戦略性と協働性を基本視点とした都市づくりを総合的に進めています。

また、この都市の姿の実現に向けて、令和2年度から7年度までを計画期間とした「久留米市新総合計画第4次基本計画」を策定し、持続的発展に向けた都市づくりを進めているところです。

こうした中、令和元年度に「久留米市教育に関する大綱」が策定されました。大綱は「“学び”が人をつくり、“地域”が人を育み、輝く未来を創る」を基本理念とし、学校教育の基本方針「「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育」と社会教育の基本方針「生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり」を掲げ、施策の方向性を定めています。

併せて、久留米市教育委員会では、第4次基本計画及び大綱に掲げる基本理念と目指す都市の姿の実現に向けて、令和2年度から7年度までを計画期間とする「久留米市教育振興プラン」を策定し、「ともに未来を創る「くるめっ子」の育成」を目標に、施策目標の達成に取り組んでいきます。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、学校と教育委員会が協力し、児童生徒が心と体の健康を保持しながら意欲的に学習ができるよう「感染防止」「学習保障」「元気支援」の3つの柱で取組を進めていきます。

なお、教育行政の推進に当たっては、市教育委員会の活性化を図るとともに、市長部局はもとより、福岡県教育委員会や関係機関等との連携を図る必要があります。

久留米市教育委員会では、これらの基本的な考え方を踏まえ、教育における具体的な施策方針として「令和2年度久留米市教育施策要綱」を定めました。今後本要綱に基づき、広く市民の理解と協力を得ながら教育施策・事業に取り組んでいきます。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策及び財政環境の悪化等により、事務事業の中止や縮小を余儀なくされています。そのため、本要綱に掲げる施策の内容等が変更になる場合があります。

目 次

第 1 章

教育施策の重点課題と対応方針	1
----------------	---

第 2 章

教育行政の主要施策の展開

I 「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育

教育振興プランの推進	3
重点 1 学びをつなぐ授業	4
重点 2 楽しい学校	7
重点 3 笑顔の先生	9
重点 4 協働する学校・家庭・地域	11
その他の施策	12

II 生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり

1 生涯学習・社会教育の推進	14
2 歴史的資源の保護と活用	15
3 スポーツの推進	16
4 市民の自己学習の場としての図書館づくり	18

III 新型コロナウイルス感染症対策

IV 教育施策の重点事業

第 3 章

教育行政資料	59
--------	----

1 学校教育

総括的な考え方

令和2年度は、今後6年間の教育理念と基本方針を定めた「久留米市教育に関する大綱」と「久留米市教育振興プラン」がスタートする年度となります。

令和元年度までの「第3期久留米市教育改革プラン」では、外国語教育の推進や学校安全への支援、地域学校協議会活動への支援等の成果が見られた取組の一方で、学力向上をはじめとする授業改善の取組では課題が残る状況となりました。

このような状況を踏まえ、振興プランに掲げた4つの重点である「学びをつなぐ授業」「楽しい学校」「笑顔の先生」「協働する学校・家庭・地域」の実現に向けて、これまでの課題改善や新しい目標達成のための取組を着実に進めます。

教育ICTの推進

国は、Society5.0時代の到来を見据え、児童生徒1人1台のコンピュータ端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するGIGAスクール構想を打ち出し、学校教育のあり方を大きく変える方針を示しました。

教育ICTの目標である「誰ひとり取り残さない個別最適化、協働化された学び」を実現するため、教育ICTを活用した授業づくりを広く学校現場に浸透させていくとともに、子どもや保護者の理解促進に努めます。

小学校の統合等

第1次久留米市立小学校統合基本計画に基づき、保護者や地域等への丁寧な説明、協議を行いながら、子どもたちのより良い教育環境の実現に向けて取組を進めます。

また、学校施設の老朽化対応や安全衛生環境の確保については、限られた財源の中で計画的に進めるとともに、教職員の働き方改革や教職員研修の充実を通して、指導力の向上を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策

子どもたちが集団で活動する学校では、臨時休校による影響をできる限り払拭するため、3密の回避に努めながら「感染防止」「学習保障」「元気支援」の3つの柱で学習保障やきめ細かい心のケア、感染者等への偏見や差別につながる行動を行わないための取組を進めます。

2 社会教育

総括的な考え方

取組の推進にあたっては、厳しい財政状況を踏まえ、効率的・効果的な事業実施に努めるとともに、子どもの貧困対策や青少年の健全育成等の視点に留意し、関係部局や様々な関係機関と緊密な連携を図りながら、協働した取組を進めていきます。

スポーツ

久留米アリーナなどのスポーツ拠点施設等を最大限活用し「文化芸術、スポーツを生かしたまちづくり」の実現に向けて、多くの人々が集い、市民が愛着や誇りを感じることができるよう魅力ある事業を戦略的に進めるとともに、久留米市を対外的に売り込むMICE誘致に取り組みます。

東京2020オリンピック・パラリンピックは1年延期されましたが、引き続きケニア共和国及びカザフスタン共和国の事前キャンプ受け入れに向け、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、両国とのスポーツ・教育・文化など様々な分野での交流の準備を進め、関係機関と連携し受入体制を強化します。

文化財・生涯学習等

久留米市が有する文化芸術資源や歴史遺産を、地域や関係機関との協働により磨き上げるとともに、これらを最大限活用し、久留米市の魅力向上と地域の活性化に繋げていきます。なかでも、令和3年度の「有馬家久留米入城400年」に向けて、イベント等を展開することで機運醸成を図っていきます。

併せて高齢者等を中心として市民の生涯学習ニーズが高まる中で、協働の視点を持ちながら、生涯学習や健康増進、図書館事業等の取り組みを進めます。

第2章 教育行政の主要施策の展開

I 「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育

教育振興プランの推進

久留米市教育振興プラン（令和2～7年度）は、第1期から第3期までの教育改革プランの成果と課題を踏まえ「ともに未来を創る「くるめっ子」の育成」を目標に掲げています。

これまでの取組のさらなる充実・定着・拡大を基本方針として、①学びをつなぐ授業【主体的・対話的で深い学び】 ②楽しい学校【安心・安全な学び舎】 ③笑顔の先生【教師力の向上と子どもと向き合う時間の確保】 ④協働する学校・家庭・地域【コミュニティ・スクールの推進】を重点とし、施策を推進していきます。

また、4つの重点を支える土台として、人権・同和教育、特別支援教育、キャリア教育を推進し、各重点に係る具体的な施策の展開が一貫性と関連性を持ったものとなるよう努めます。

なお、事業実施にあたっては、教育振興プランの重点に沿った施策とその評価指標を設定し、効果を検証していきます。

教育振興プランの施策と評価指標

重点	No.	施策	評価指標
重点1 学びをつなぐ授業	1	「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査（小6、中3）において全国平均正答率を上回る 県学力調査（小5、中1、中2）と全国学力・学習状況調査において県・全国を100とした場合の得点率が増加する
	2	個に応じた教育活動の充実	「授業の内容がよくわかる」と答える児童生徒の割合が増加する
	3	教育ICT活用・情報教育の推進	「コンピュータなどのICTを活用した授業を週1回以上やっている」と答える児童生徒の割合が増加する
	4	外国語教育の充実	「CEFR A1」相当以上の力を有する生徒の割合が全国平均以上になる
重点2 楽しい学校	1	不登校対応の徹底	不登校の出現率が全国平均以下になる
	2	いじめ問題対応の徹底	いじめ認知件数が全国平均以上になる
	3	学校安全への支援	日本スポーツ振興センター災害給付対象けが件数が減少する
	4	仲間づくりの視点を大切にした活動の充実	「学級みんなで話し合っただけ決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」と答える児童生徒の割合が増加する

重点	No.	施策	評価指標
重点3 笑顔の先生	1	教師力向上への支援	「先生は、よさを認めてくれる」と答える児童生徒の割合が増加する
	2	業務改善への支援	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と答える児童生徒の割合が増加する
重点4 協働する学校 ・家庭・地域	1	学習習慣定着への支援	「家庭等で1時間以上学習する」「家で計画を立てて勉強している」と答える児童生徒の割合が増加する
	2	地域学校協議会提言の実働化への支援	地域学校協議会提言の達成率が増加する
	3	中学校区人権のまちづくりへの支援	「自分にはよいところがあると思う」、「人が困っているときは進んで助けます」と答える児童生徒の割合が増加する

重点1 学びをつなぐ授業【主体的・対話的で深い学び】

- ① 「くるめ授業スタンダード」を活用しながら、現在の学びを過去や未来の学びとつなぐ、友達や地域の方々など他者とつなぐ、各教科等の学びとつなぐ「主体的・対話的で深い学び」となるように毎日の授業を見直します。
そして、子どもが基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけるとともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を伸ばすことで、「自ら学びたくなる、わかる・できる喜びを味わう」授業づくりを進めます。
- ② インクルーシブ教育システムの構築に向けて、ユニバーサルデザインの視点による授業づくりを進めるとともに、個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づく個に応じたきめ細かな支援を行う特別支援教育を充実させます。
- ③ 超スマート社会（Society5.0）時代の到来を踏まえ、情報を収集し、目的に合わせて加工する情報活用能力を身につけるための教育活動を充実させます。
- ④ 多文化共生社会の実現をめざし、多様な国籍や民族などの背景をもつ人々の文化や自国文化の理解を深め、コミュニケーション力を育てる外国語教育を充実させます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 1 小・中学校学力・生活実態調査事業	学校教育課	児童生徒の学力等の実態を把握し、分析・考察した結果をもとに授業改善と教員の指導力向上を図る。	計 16,869 小 10,002 中 6,867
重点事業 2 小学校くるめ学力アップ推進事業	学校教育課	児童の学力向上をめざし、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図るために、全小学校を対象に放課後学習会実施の支援、学力向上実践推進校の指定（2校）、全小学校の学力向上コーディネーターを対象に「くるめ授業スタンダード」アドバイザーを招聘した研修の実施を進める。	9,941
重点事業 3 中学校くるめ学力アップ推進事業	学校教育課	生徒の学力向上をめざし、中学校の確かな学力の育成を図るため、全中学校を対象に補充学習実施の支援、学力向上実践推進校の指定（1校）、全中学校の学力向上コーディネーターを対象に「くるめ授業スタンダード」アドバイザーを招聘した研修の実施を進める。	10,970
重点事業 4 小・中学校特別支援教育支援員活用事業	学校教育課	通常学級及び特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒がよりよい学校生活をおくることができるよう特別支援教育支援員を全小中学校に配置する。	計 109,725 小 89,610 中 20,115
重点事業 5 発達障害支援事業	学校教育課	児童の発達に関する相談・支援窓口として子ども発達相談教室を設置する。また、ADHDの子どもへの包括的治療プログラムを行う「くるめSTP」事業への補助を行う。	3,453
重点事業 6 外国語指導助手活用事業	学校教育課	小学校外国語活動・外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続をめざすとともに、外国語教育の充実を図り、外国語によるコミュニケーション能力の基礎や素地の育成を図るため、外国語指導助手（ALT）を配置する。	計 72,469 小 41,052 中 31,417
重点事業 7 小・中学校英語教育充実事業	学校教育課	英語運用能力の育成や、英語学習に向けての意欲の向上を図るため、中学生を対象に英語だけでの生活や学習をする場を設ける。さらに、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測定する調査を実施し、その結果を授業改善に活かすための取組を行う。	25,093

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 8 教育 ICT 活用事業	教育 ICT 推進課	国が掲げる GIGA スクール構想の実現に向けて、各学校のコンピュータ端末の整備とネットワークの構築を進める。 また、教育 ICT 実証校等の端末を活用し、効果的な授業モデルの構築及び推進リーダーの養成研修等を行う。	2,962,871
小・中・特別支援学校図書活動の推進	教職員課	小・中・特別支援学校の学校図書館の充実を図るため、学校司書を配置する。	計 135,879 小 97,536 中 36,049 特 2,294
学校事務支援事業	教職員課	小・中・特別支援学校に事務補助職員を配置することにより学校事務の支援を行う。	計 93,429 小 62,575 中 29,264 特 1,590
教育活動支援事業	教育 センター	教職員の教育活動を直接支援するため、授業づくりサポートの充実、図書室の整備、教育情報の提供、理科教育の推進、教育論文の執筆奨励を図る。	2,498
教職員校内研修事業	学校教育課 教職員課	教職員の実践的な指導力を高めるため、教職員の研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して助成を行う。	計 2,716 小 1,371 中 742 特 603
特別支援教育進路指導事業	学校教育課	久留米特別支援学校高等部の作業学習や現場実習への支援を行うことにより、卒業後の進路獲得を目指した進路指導の充実を図る。	4,356
就学相談事業	学校教育課	障害のある幼児児童生徒の学校生活の充実を目的として、就学に際して個々の幼児児童生徒に適した教育支援の方策を検討するための就学相談会を実施する。	1,362
外国人等児童生徒サポート事業	学校教育課	日本語理解が困難な外国人等児童生徒が在籍する学校に対し、語学能力を有するサポーターを派遣し、学習支援等を行う。また、支援が必要な学校に翻訳機を配備する。	4,748

重点2 楽しい学校【安全・安心な学び舎】

- ① 「くるめアクションプラン」を活用しながら、いじめ問題や不登校の未然防止、早期発見、早期対応を徹底し、だれもが安心して学べる学校生活を送れるようにします。
- ② 子ども自らがいかに自分で自分の身を守るかを意識し、自ら安全な行動ができる力を育てる学校安全の取組や ICT 教育の推進など多様な学習への対応や子ども一人ひとりの状況に応じた配慮など、学校生活を安全かつ快適に送れるように、学校施設の整備充実に努めます。
- ③ 自分のよさや仲間のよさが実感できる学校になるように、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を進め、人権・同和教育の取組を充実させます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業9 小学校不登校対応 総合推進事業	学校教育課	不登校や不登校傾向等の解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。	15,695
重点事業10 中学校不登校対応 総合推進事業	学校教育課	不登校及び不登校傾向にある生徒に校内の居場所を作り、生徒指導、進路指導及び学習支援を行いながら、教室へ復帰するための支援を行うため、中学校の校内適応指導教室に助手を配置する。	34,344
重点事業11 不登校児童生徒対 策事業	青少年育成課	らるご久留米において、学校に行きたくても行けない児童生徒の基礎基本の学力向上と、様々な体験活動を通して学校復帰等へ向けた「心の安定」及び「心のエネルギーの回復」に努め「自信の構築」「基本的生活習慣の改善」を図る。また、臨床心理士との連携により、児童生徒及び保護者のサポートを強化する。	6,851
重点事業12 生徒指導充実事業	学校教育課	専任生徒指導教員が配置されていない中学校に対し、教員が専任で生徒指導の諸問題への対応と解決を図る環境を整備するため非常勤講師を配置する。また、中学校生徒指導連絡協議会に対して活動助成を行う。	16,107

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 13 スクールカウンセラー活用事業	学校教育課	学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すとともに、保護者の不安解消、医療機関との連携の充実を図るため、心理に関する専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置する。	計 16,243 小・特・高 5,659 中 10,584
重点事業 14 スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	学校・家庭・関係機関の協働体制を築くための支援を行い、困難を抱えた児童生徒がおかれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図るため、福祉分野の諸制度等に関する専門知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。	—
重点事業 15 学校施設の整備充実事業	学校施設課	児童生徒の生命を守り、災害時の避難施設を確保し、多様で新しい学習活動に対応した教育環境の整備を進めるため、学校施設の改築を計画的・効率的に行う。また、教室不足が生じている学校について増築を行う。	計 2,418,559 小 2,417,953 うち増改築(繰越含む) 2,415,076 中 606
重点事業 16 学校施設の長寿命化事業	学校施設課	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政の平準化、環境負荷の低減などを図るため、外壁・防水工事等の施設の長寿命化を図る。	計 606,373 小 471,325 中 126,548 高 8,500 (繰越含む)
学校問題解決支援事業	学校教育課	法的、専門的な知識を必要とする保護者等からの要求や学校の重大事件・事故等の緊急的な対応が必要な事案に対して、各分野の専門家からなる相談体制を確立し、学校への助言等を行う。	3,000
健康増進特別事業	学校保健課	自然環境の中で、野外観察や集団活動等を行うことにより、心身の健康増進と社会的資質の向上を図る。	計 33,059 小 13,733 中 14,047 特 2,279
生徒指導連絡協議会助成	学校教育課	問題行動等を防止し、児童生徒の健全な育成を図るため、生徒指導連絡協議会や学校警察連絡協議会に対して活動助成を行う。	計 153 小 113 高 40

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
SC・SSW スーパーバイザー活用事業	学校教育課	教育相談体制の強化を図るため、経験豊かで専門的知見を有するスーパーバイザーを配置し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに指導助言を行う。	1,536
学校施設維持管理事業	学校施設課	学校施設における機能の維持改善を図るとともに、小中学校のブロック塀対応等、安全で快適な学習環境づくりに向けた整備を行う。	計 430,701 小 274,450 中 74,299 特 11,458 高 70,494
空調機整備事業	学校施設課	耐用年数を超えている教室及び管理諸室（校長室、職員室、事務室、保健室、図書室、コンピュータ教室等）の既設空調機について更新を行う。	計 74,645 小 20,900 中 53,745 (繰越含む)

重点3 笑顔の先生【教師力の向上と子どもと向き合う時間の確保】

- ① 教職員のキャリアステージに応じて求められる資質・能力を整理した育成指標に基づく教員研修の充実や教育活動の支援を通して、教員一人ひとりの授業力や学級経営力、保護者や地域との連携や使命感の向上に努めます。
- ② 教職員の働き方に関する意識改革と学校の役割と家庭・地域の役割を明確にすることを通して、教師が本来の業務に専念できるなど業務改善を進めます。
また、久留米市部活動方針の策定や学校を支える専門スタッフの活用など、働き方改革を通して、児童生徒に接する時間を十分に確保し、笑顔で子どもたちに向き合う先生の環境づくりを推進します。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業17 教職員研修事業	教育センター	教育の専門家として、自ら学び続ける教職員を育成するために、育成指標に基づくキャリアステージに応じた研修や本市の教育課題に対応した研修を計画的に実施する。	12,691

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 18 学校における働き方改革推進事業	教職員課	勤務時間を意識した働き方改革を進め、教職員の業務改善の取組を推進し、勤務環境整備のための支援を充実させることで、教職員の多忙化解消を図る。また、スクール・サポート・スタッフの配置を進める。	2,722
重点事業 19 学校 ICT 環境整備事業	教育 ICT 推進課	教育イントラネットやデータセンターに一元化したファイルサーバ等について、安定的な運用を図る。 また、学習指導や生徒指導に活用するために、児童生徒一人ひとりの様々の情報を一元管理する校務支援システムの保守、サポート体制を整えることで、システムの安定稼働・運用を行う。	140,008
教科等教育研究推進事業	学校教育課	教職員の実践的指導力の向上を図るため、国・県・市の研究指定校、教職員研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して補助金の交付を行う。	4,597
中学校部活動活性化事業	学校教育課	競技大会等を運営する中学校体育連盟・中学校文化連盟に対し運営費、大会経費及び生徒の移動旅費に係る財政的支援を行う。また、外部指導者の指導中の事故等に対応するためスポーツ安全保険に加入する。	20,910
教育課題研究事業	教育センター	本市の教育課題を解決するため、調査研究に取り組み、市主催研修等を通して、その成果を普及する。	778
情報教育環境の充実	教育 ICT 推進課	校務用・教育用ノートパソコンやパソコン教室の整備及び必要なメンテナンスを行う。また、情報の収集・発信・交流を行うことができるよう、インターネット環境を整えるなど情報教育環境の充実を図る。	132,002

重点4 協働する学校・家庭・地域【コミュニティ・スクールの推進】

- ① 学校を支えるスタッフや授業支援への地域人材の積極的な活用を図ることで、子どもたちの学習習慣定着や基礎的・基本的な知識・技能の定着を中心とした取組、家庭と連携して健やかな成長を支える生活習慣づくりへの支援などを進めます。
- ② 全小中学校に設置している地域学校協議会による提言の実働化への支援を図り、地域と学校の協働活動を一層充実させます。また、国の動向を踏まえ、コミュニティ・スクールへの移行に向けた組織や機能のあり方についての検討を進めます。
- ③ 全中学校区に設立されている人権のまちづくり推進協議会による誰もが安心して暮らすことができる心豊かなまちづくりへの支援を図り、地域コミュニティと学園コミュニティを両輪とした人権のまちづくりを一層充実させます。

主な事業の概要

小学校くるめ学力アップ推進事業（重点事業2）、中学校くるめ学力アップ推進事業（重点事業3）は、重点4に含まれます。

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業20 小・中学校コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業	学校教育課	学校・家庭・地域が協働して行う体験活動や教育活動を充実することで、地域の教育力を学校運営に取り入れ、地域とともにある学校づくりを推進するため、学校規模に応じた補助金や、地域学校協議会プランの提言を実働化させるための補助金を交付する。	計 26,835 小 19,736 中 7,099
重点事業21 人権教育・啓発推進事業	学校教育課	自他の人権を守り、差別をなくす意志と実践力を身に付け豊かな人権感覚をもった市民・児童生徒の育成を図るために、全中学校区毎に学園コミュニティ及び地域コミュニティが連携・協働し、地域の実態や課題に応じた人権教育・啓発活動を推進する。	7,110
P T A団体助成	教育部総務	家庭教育と学校教育との連携を深め、児童生徒の健全育成を図るため、久留米市小・中学校P T A連合協議会に対して補助金を交付する。	2,920
社会人権・同和教育事業	学校教育課	社会人権・同和教育を推進し、差別のない地域社会の実現をめざすため、社会人権・同和教育研修等による団体等の育成及び進路保障を図るための事業を実施する。	13,886

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
小・中学校人権・同和教育事業	学校教育課	人権・同和教育の振興・充実に資するため、部落差別をはじめとする様々な差別の現実に学び、教職員の人権についての認識を深めるとともに、その研究成果を広く啓発・普及する。	3,000
学校人権・同和教育事業	学校教育課	差別をなくす意志と実践力を持った児童生徒を育成し、社会に存在する差別意識を解消するため、久留米市人権・同和教育研究協議会の育成、質問教室の実施、就園・就学・進学奨励金等の給付を行うなど、基本的人権を尊重する意識を醸成する教育活動を推進する。	23,439

その他の施策

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 22 食育プログラム研究推進事業	学校教育課	子どもたちの食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的な生活習慣を育成するため、栄養教諭等研究会や食育推進校のPTAに対する助成を行う。	882
重点事業 23 医療的ケア対応事業	学校教育課	久留米特別支援学校の医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、看護師を配置し、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。	29,285
重点事業 24 中学校美術教育振興事業	学校教育課	中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育むため、中学校第1学年の生徒が久留米市美術館等の企画展・常設展を鑑賞するためのバスの借上げを行う。	2,968
重点事業 25 学校規模対策事業	学校教育課	久留米市立小学校小規模化対応方針に基づき、複式学級の回避・解消を目的とした小学校の統合を進めるための協議や調整を行う。	5,127
学校訪問看護支援事業	学校教育課	医療的ケアを必要とする児童生徒の保護者が、学校活動において訪問看護制度を活用する際の補助を行う。	5,294
中学校生徒会支援事業	学校教育課	中学校の生徒会の交流を促進し、生徒会活動を活性化することで、生徒による学校運営の円滑化と課題の解決を図る。	90

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)									
久留米市奨学金	学校教育課	<p>経済的な理由により高等学校等の修学が困難な者に対し奨学金を給付する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入学一時金(円)</th> <th>月奨学金 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>20,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 高校生等奨学給付金の支給要件を満たさない者の月奨学金は7,000円</p>		入学一時金(円)	月奨学金 (円)	公立	20,000	5,000	私立	30,000	7,000	21,368
	入学一時金(円)	月奨学金 (円)										
公立	20,000	5,000										
私立	30,000	7,000										
就学援助事業	学校保健課	小・中学校に通学する児童・生徒で、経済的理由により就学が困難な者に対し、学用品費や給食費、PTA会費、生徒(児童)会費、クラブ活動費などを支給する。	計 558,801 小 316,193 中 241,950 特 658									
定期健康診断	学校保健課	児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康管理の推進を図る。	計 47,509 小 25,968 中 15,566 特 1,959 高 4,016									
歯科保健指導事業	学校保健課	学校歯科医の指導のもとに歯科衛生士を久留米市立小学校に派遣し、小学校2年生を対象に歯磨指導を行う。	930									
学校保健会助成	学校保健課	各学校が実施する保健事業を支援することにより、学校保健衛生の普及向上に資する。	2,418									
学校給食の充実	学校保健課	学校給食運営の効率化とともに、安全衛生管理の徹底や、給食施設・設備等の更新・修繕を行い、安全・安心な学校給食を提供する。	計 877,957 小 819,626 中 30,006 特 28,325									

Ⅱ 生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり

1 生涯学習・社会教育の推進

市民が生涯にわたり自己実現を図っていくことができるよう、生涯学習の振興に努め、全市的な生涯学習ネットワークの確立を図るとともに、青少年健全育成の推進、家庭・地域社会の教育力の向上、社会人権・同和教育の推進など、地域に根ざした市民主体の生涯学習・社会教育の推進に取り組みます。また、利用者が安全で安心して利用できるよう生涯学習施設等の改修を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 26 地域生涯学習振興事業	生涯学習推進課	校区等において実施される委嘱学級や土曜塾をはじめとする生涯学習事業に対して、財政支援や指導者の養成などの各種支援を行い、地域における生涯学習の振興を図る。	67,210
重点事業 27 体験活動推進事業	生涯学習推進課	少年の翼、アドベンチャーキャンプ、わくわく遊友体験などの体験活動事業を通じ、団体生活の楽しさや友情の深まりなどを体験する場を創出し、子どもたちの自主性・協調性・創造性を育む。	4,696
社会教育団体支援事業	生涯学習推進課	LL ネットコアくるめや子ども会連合会、女性の会婦人会連絡協議会をはじめとする各社会教育団体の活動振興のため、財政支援や活動助言、指導等の各種支援を行う。	22,369
生涯学習センター活用事業	生涯学習推進課	各地域における生涯学習センターを広く活用した各種講座等を実施することにより、市民の生涯学習の推進を図る。	6,736
生涯学習センター維持補修事業	生涯学習推進課	えーるピア久留米をはじめ、各地域の生涯学習センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	36,680
そよ風ホール整備事業	生涯学習推進課	そよ風ホールについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	15,730
城島総合文化センター維持補修事業	生涯学習推進課	城島総合文化センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	139,475
社会人権・同和研修事業	生涯学習推進課	同和問題や男女共同参画に関する問題をはじめとする様々な人権問題に関して「なるほど人権セミナー」等の啓発事業を実施するほか、人権・同和教育を推進するリーダーの養成、啓発資料の作成、校区コミュニティセンター等における人権学習の振興を図る。	2,337

2 歴史的資源の保護・活用

久留米市が有する歴史的な資源の適正な保護とその活用に努めるとともに、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立てます。また、地域の活性化につなげるために、地域と連携した事業の展開を図り、交流人口の増に取り組みます。

併せて、文化財保護法の令和元年度改正を踏まえ、歴史的資源の保存と活用に視点を置いた「文化財保存活用地域計画」策定を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 28 歴史資料保存活用事業	文化財保護課	地域文化を知り、創造し、継承するため、歴史資料の収集と適正な保存管理を図る。 また、六ツ門図書館展示コーナーや、久留米シティプラザ等での展示を通じて、資料の活用を図り、郷土の歴史に関する市民意識の高揚を図り、地域文化の継承に役立てる。	10,477
重点事業 29 筑後国府跡歴史公園整備事業	文化財保護課	久留米市を代表する文化遺産である筑後国府跡を、市民が身近な場所で歴史を感じることができる歴史公園として保存整備することにより、歴史学習や地域活動の場を提供し、市民の「郷土」に対する愛着心を高めるとともに、文化財としての価値と魅力を未来に向けて継承する。	6,000
重点事業 30 歴史ルートづくり事業	文化財保護課	市内に数多く存在する歴史・文化遺産を整理・集積し、歴史的背景に基づくストーリーの設定や周知イベントの実施により、地域の魅力を発信する。 同時に、拠点となる歴史的スポット等の整備を行い、安全で魅力的な環境づくりを推進し、交流人口の増加を目指す。	18,130
発掘調査事業	文化財保護課	国民の共有財産である貴重な埋蔵文化財を保護するため、開発により現状が維持できない場合は、記録保存を目的として、発掘調査を行う。 わが国及び久留米地域の歴史・文化等の正しい理解を促し、市民の郷土愛を醸成するとともに、地域の文化活動の展開やまちづくり活動を支援する。	132,351
埋蔵文化財センター事業	文化財保護課	発掘調査に伴う出土品や記録類の集中管理及び調査研究を行う。 また、市民の多様な文化的活動の展開を支援するため、発掘調査成果を公開する展示会や体験学習などの普及活動を実施する。	2,181

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
歴史的建造物保存整備事業	文化財保護課	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存整備・活用を図り、市民へ周知し、その魅力を内外に向けて発信できる人づくりとまちづくりを推進する。	3,048
史跡等環境整備活用事業	文化財保護課	地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、説明板の設置などまちづくりの素材としても活用を図る。また、文化財の周知、普及活動を積極的に展開する。	4,382
坂本繁二郎生家活用事業	文化財保護課	坂本繁二郎生家は、久留米城下町に唯一残る武家屋敷を復原工事したもので、周知活用事業として体験講座等を実施するとともに、貸室利用促進に努める。 また、歴史のプロムナードということで、関係施設等と連携を図り、地域の回遊性を向上させる。	390
文化財保護団体等育成事業	文化財保護課	文化財の管理、普及活動及び無形民俗文化財の継承を行っている団体に対し補助金の交付を行うことで、文化財の保護を図る。	1,004

3 スポーツの推進

久留米市のスポーツ分野における基本的な方向性を示した「久留米市スポーツ推進計画」（令和2年度から7年度）がスタートしました。計画の基本方針である「スポーツ参画人口の拡大」「スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実」「スポーツを通じた、活力があり絆の強い社会の実現」を目指すことでスポーツの推進を図ります。

また、県南の中核都市にふさわしいスポーツ事業・コンベンション・施設整備・組織づくりの推進に向け、久留米アリーナをはじめ施設の有効活用を図ります。

さらに産官学にわたるオール久留米の力を結集し、1年延期された東京2020オリンピック・パラリンピック等の開催を見据え、キャンプ誘致など開催効果を引き込む取り組みを進めます。併せて、市民が安心して利用できるようスポーツ施設の老朽化対応や機能向上を目的とした計画的な改修を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 31 MICE 誘致推進事業	体育スポーツ課	スポーツによる地域活性化及び市のスポーツ振興のため、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを契機として、国内外の競技関係者を対象に大規模スポーツ大会等、スポーツコンベンションの誘致を推進する。	100,000
スポーツ大会振興事業	体育スポーツ課	全国・九州規模のスポーツ大会を誘致開催し身近に見ていただくことで、スポーツを始めるきっかけをつくとともに、市民のスポーツ技術向上と競技スポーツの振興を図る。	5,000
スポーツ交流推進事業	体育スポーツ課	スポーツを通じて、近隣市町村及び市民間の交流を推進し、お互いの友好親睦を深めることで活動の広域化を図り、市民スポーツを振興する。	5,407
スポーツ推進委員養成事業	体育スポーツ課	スポーツ推進委員を対象としたスポーツ全般に関する知識・技術・指導力を高めるための研修会や講習会を実施し、地域スポーツの振興のための実技指導及び助言を行うコーディネーターとしての資質向上を図る。	8,397
(公財)久留米市体育協会助成事業	体育スポーツ課	すべての市民が手軽にスポーツに参加することを旨とし、各種大会への参加奨励、各競技団体が開催するスポーツ大会への支援や指導者の育成などを(公財)久留米市体育協会を通じて実施し、市民の生涯スポーツの普及推進を図る。	56,908
市民スポーツ推進事業	体育スポーツ課	① 市民が主体的にスポーツと触れ合う仕組みを提供し、広くスポーツの恩恵を享受できるような環境を整備し、ひいては市民のスポーツ実施率向上を目指す。 ② 国際大会等での活躍が期待できる久留米市ゆかりのジュニアアスリートが競技に専念できる環境整備の強化を図る。	6,927
保健体育施設事業	体育スポーツ課	市内体育施設を適切に管理運営することで、市民サービスの向上及び安全・安心な利用につなげる。 <主な内容> ・体育施設の指定管理業務	238,429
体育施設維持補修事業	体育スポーツ課	スポーツ施設の老朽化に伴い、計画的に補修・改修を行うことにより利用者のサービス向上と社会体育施設の安全性を確保する。 <主な内容> ・西田体育館照明LED化設計・工事 ・西部地区体育館高圧受電装置開閉器等改修	11,043

4 市民の自己学習の場としての図書館づくり

市民一人ひとりの学びと情報の拠点として、市民生活の充実と地域社会の発展を支える役割を担うため、多様な図書資料や情報の収集・整理・保存を行い、利用者への適切な提供や企画展示など積極的な活用を図ります。

また、各地域館や図書施設とのネットワークの促進、石橋文化センターや久留米市美術館など隣接施設・関係団体等との連携を深め、利用者ニーズに応じたサービスの充実を図ります。加えて、利用者が使いやすい図書館づくりのため、中央図書館の窓口集約整備を行います。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 32 子どもの読書環境整備事業	中央図書館	<p>① 第4次久留米市子どもの読書活動推進計画の推進 第4次久留米市子どもの読書活動推進計画(令和2年度～7年度)に基づき、子どもが心豊かな生活を送れるよう本との出会いと読書習慣の定着を進めるため、子どもの読書活動を推進する環境整備を進める。</p> <p>② ブックスタート事業 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長などに効果があるブックスタート事業を実施する。</p>	5,977
重点事業 33 図書館整備事業	中央図書館	<p>① 図書館施設・機能の整備充実 安全で快適な読書空間の提供と図書資料・情報の確保、積極的な情報発信に努めることで、図書館機能の充実を図り、市民の生涯学習ニーズに対応する。令和2年度は、窓口集約の工事及び環境配慮型施設にするためのZEB (ready) 化による空調設備等の設計を行う。</p> <p>② 福祉サービスの提供と市民との協働 ボランティアとの協働による録音・点字図書の製作や活用、対面朗読など福祉サービスを充実する。</p> <p>③ 図書館困難者へのサービス提供 高齢や障害、図書館遠隔地など、図書館を利用しにくい環境にある市民に対し、移動図書館巡回や団体貸出、有料宅配などのサービス提供に努める。</p>	106,026

Ⅲ 新型コロナウイルス感染症対策

1 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、感染防止対策を行いながら児童生徒の学びを保障するため、国の補助金等を活用した補正予算の編成等により「感染防止」「学習保障」「元気支援」の3つの柱で取組を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
就学援助受給世帯支援事業	学校保健課	就学援助を受給する準要保護世帯の児童生徒の保護者に対し、家計負担の支援を行うため、おこめ券 20 kg相当分を支給する。	59,639
教育 ICT 活用事業	教育 ICT 推進課	① 国の GIGA スクール構想に基づき、学習者用コンピュータ端末を小・中・特別支援学校(小1~4、中2~3年生)へ整備する。 ② 学校の ICT 環境整備等を推進するため、専門的知見を有する GIGA スクールサポーターを配置する。 ③ 小・中・特別支援学校・高校に対して学習者及び指導者用コンピュータ端末を整備する。 ④ 学校のインターネット環境を整備するため光回線を接続する。また、学校と児童生徒間の遠隔学習に使用する通信装置等を整備する。	① 490,095 ② 16,800 ③ 337,005 ④ 8,774
学校給食臨時休業対策事業	学校保健課	小中学校等の臨時休校に伴い、給食事業者が生じた費用の一部を支給する。	3,000
登校困難児の家庭学習支援事業	学校教育課	持病や障害等により登校が困難な児童生徒の家庭での学習を支援する。	1,400
小学校不登校対応総合推進事業	学校教育課	学校再開後の不登校など児童の環境変化に対応するための生徒指導サポーターを増員する。	2,282
小学校給食の充実	学校保健課	夏場に安全な給食調理業務を実施するために、給食調理室へエアコンを設置する。	46,500
中学校給食の充実	学校保健課	夏場に安全な給食調理業務を実施するために、給食調理室のエアコンを設置する。	1,500
学校再開対策事業	学校保健課 学校教育課	消毒液等の感染症対策用品や児童生徒の学びの保障に必要な教材などを、各学校が状況に応じて確保できるようにするための経費を配当する。	93,000

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
学習指導員等配置事業	学校教育課 教職員課	子どもの学びの保障をサポートするための学習指導員や教員等の業務をサポートするスクール・サポート・スタッフを配置する。	80,423
学校規模対策事業	学校教育課	城島小学校において、空調の整備やトイレの改修を行う。	24,062
スクールバス運行事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、特別支援学校のスクールバスを増便する。	14,996
小・中学校コミュニティ・スクール(久留米版)推進事業	学校教育課	地域学校協議会の提言により地域の住民や保護者と協働して行う学校施設や備品等の消毒作業等について、必要な費用を交付する。	4,550
教育集会所整備事業	学校教育課	感染症予防の観点も踏まえ、教育集会所2箇所のトイレを洋式化・ドライ化する。	6,092
小学校施設長寿命化事業	学校施設課	感染症予防の観点も踏まえ、小学校1校のトイレを洋式化・ドライ化する。	50,578

2 学校の取組み

(1) 児童生徒・教職員の体調管理

「体調がよくない場合は登校、出勤しない」「登校してきた児童生徒の検温」「体調が悪化した場合には早退等を行う」等の体調管理を目的とした取組を徹底します。

(2) 感染拡大を防止するための環境づくり

「児童生徒の3密状態を可能な限り避ける」「外部の者の立ち入りを制限する」「消毒・換気・手洗い、マスク等の着用など感染防止対策を行う」等に取り組みます。

取組事例

- 時間分散 … 図書室利用、昼休み、下校時間、給食の受取と返却等の時間を学年・学級毎にずらす。
- 場所分散 … 少人数授業、分散給食、第2保健室の設置、図書室利用等の実施
- 学習活動 … シールドを利用したペア学習や音楽科の学習等
- 消毒作業 … 教職員のほか、スクール・サポート・スタッフや地域・保護者との連携による実施



シールド活用したペア学習



シールド活用した音楽科の学習



分散給食（特別教室と2分割）



入室人数を制限する図書室利用

(3) 児童生徒の心のケア

臨時休校による影響や感染に対する不安などにさらされる児童生徒の心のケアに取り組みます。

(4) 感染者や濃厚接触者等に対する偏見や差別等の禁止

感染者や濃厚接触者とその家族、治療等に従事する医療従事者やその家族等に対する偏見や差別につながるような行為は、決して許されないものであり、感染症に関する適切な知識を児童生徒の発達段階に応じて行うことなどを通して、このような偏見や差別が生じないようにします。

3 教育委員会の取組

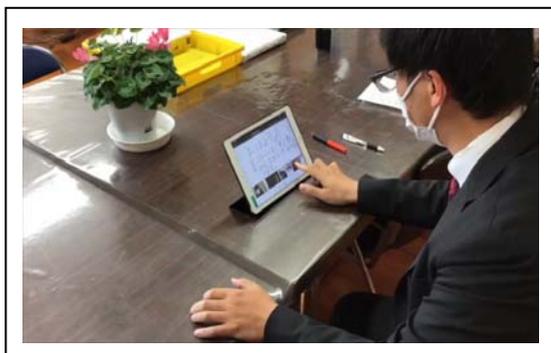
(1) 感染防止・発生時の取組

- ・ 学校関係者に感染者が確認された場合の学校、教育委員会の対応フロー作成及び学校コロナ対策チームの設置（8班体制）
- ・ 感染症予防対策チェックリスト（学校用・教員用）の配布と訪問指導
- ・ 熱中症予防のリーフレット配布と学校への定期的な注意喚起

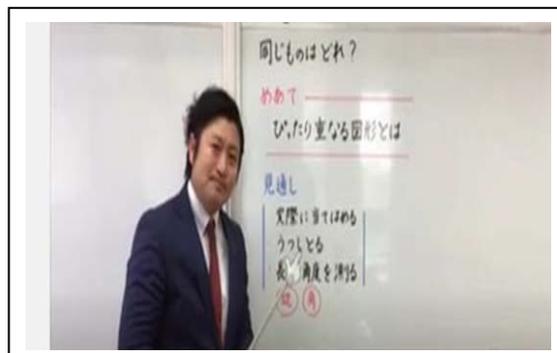
(2) 学習支援の取組

- ・ 教育ICT推進校における会議アプリ ZOOM を活用した「e朝の会」、タブレット学習ソフトを活用した「e家庭学習」の実施

- 学力の保障プロジェクトチームによる家庭学習の手引き及びプリント、家庭学習課題例、動画やスライドの作成
- 学習定着度に応じたきめ細かな授業、補充学習の補助を行う学習指導員の配置



「e 朝の会」で学習状況を確認



学習プリントの解説動画

(3) 元気支援の取組み

- 家庭訪問時に活用する「子ども支援チェックリスト」の配布
- 「こころと体のアンケート」「臨時休校中のいじめに関するアンケート（児童生徒用・保護者用）」の配布
- 生活リズムを整えるための「おうち時間割」の配布

IV 教育施策の重点事業

○ 学校教育

重点事業No.	事業名
1	小・中学校学力・生活実態調査事業
2	小学校くるめ学力アップ推進事業
3	中学校くるめ学力アップ推進事業
4	小・中学校特別支援教育支援員活用事業
5	発達障害支援事業
6	外国語指導助手活用事業
7	小・中学校英語教育充実事業
8	教育ICT活用事業
9	小学校不登校対応総合推進事業
10	中学校不登校対応総合推進事業
11	不登校児童生徒対策事業
12	生徒指導充実事業
13-1	スクールカウンセラー活用事業（小・特別支援学校・高校）
13-2	スクールカウンセラー活用事業（中学校）
14	スクールソーシャルワーカー活用事業
15	学校施設の整備充実事業
16	学校施設の長寿命化事業
17	教職員研修事業
18	学校における働き方改革推進事業
19	学校ICT環境整備事業
20	小・中学校コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業
21	人権教育・啓発推進事業
22	食育プログラム研究推進事業
23	医療的ケア対応事業
24	中学校美術教育振興事業
25	学校規模対策事業

○ 社会教育

重点事業No.	事業名
26	地域生涯学習振興事業
27	体験活動推進事業
28	歴史資料保存活用事業
29	筑後国府跡歴史公園整備事業
30	歴史ルートづくり事業
31	M I C E 誘致推進事業
32	子どもの読書環境整備事業
33	図書館整備事業

重点事業 1

事業名	小・中学校学力・生活実態調査事業		担当課	学校教育課			
	新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校の影響で今年度は実施しない。						
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算		
			10,534 千円	11,081 千円	16,869 千円		
事業目的	児童生徒の学力・生活実態を把握し、それに基づく指導方法の工夫改善を行うことで、教職員の指導力の向上を図るとともに児童生徒の学力の向上を目指す。						
事業内容	<p>(1) 小学校及び中学校において、学力・生活実態調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校 (R2.4 予定) 第2～4 学年 国語・算数 ○中学校 (R2.4 予定) 第1 学年 国語・数学 第2 学年 国語・数学・英語 <p>(2) 調査結果をもとに、各学校の学力向上の取組の見直し及び授業改善、保護者・地域への協力依頼を行う。</p>						
	<div style="text-align: center;">  <p>学力実態調査事業</p> <p>標準学力検査の実施</p> <p>生活実態調査の実施</p> <p>学力等の現状把握と分析</p> <p>各学校におけるプランの策定</p> <p>「つくる力」「つなぐ力」「つらぬく力」の育成</p> <p>学習習慣の定着 (家庭・地域との協働)</p> <p>学びをつなぐ授業 ○楽しい学校 ○協働する家庭・学校・地域</p> <p>教員の指導力向上 (日常的な授業改善)</p> <p>学力基盤づくり (補充学習や少人数授業等の実施)</p> </div>						
事業目標 成果指標	小6と中2における質問紙「授業がよく分かる」に対する肯定的回答の割合が増加する。	区分	H30 実績		R1 実績		R2 目標値
			市	全国	市	全国	それぞれの回答の割合が増加
		小6	92.4	83.9	90.9	83.9	
		中2	80.6	67.5	82.7	67.5	

重点事業 2

事業名	小学校くるめ学力アップ推進事業			担当課	学校教育課		
	新型コロナウイルス感染症に伴い事業の縮小や時期の変更を行う。						
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算		
			45,848 千円	61,010 千円	9,941 千円		
事業目的	児童の学力向上をめざし、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図る。						
事業内容	<p>① 全小学校に対して学生、地域ボランティアを派遣し、放課後学習会等を支援する。</p> <p>② 小学校2校（合川小・城島小）を学力向上実践推進校に指定し、学習支援スタッフを派遣して学力向上の取組の検証改善サイクルを確立させる方途を実践研究し、報告会を通して市内小学校へ取組の普及・啓発を図る。</p> <p>③ 各小学校の学力向上コーディネーターが全員参加する研修会に、学識者等をアドバイザーとして招聘し、久留米市がめざす授業像「くるめ授業スタンダード」の意義や授業づくりのポイント等についての講話等を行う。</p> <p>※ ①2学期より実施 ②実践研究を進めるが、報告会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から規模を縮小して実施 ③5月研修会は代替研修で実施。9月研修会は実施予定</p>						
	<div style="text-align: center;"> <p>The flowchart shows the project's structure. At the top is the project title '小学校くるめ学力アップ推進事業'. Below it are three main activity boxes: '学習習慣定着事業' (Learning Habit Consolidation Project), '学力向上実践推進校' (Academic Improvement Practice Promotion School), and 'くるめ授業スタンダード' (Kurume Lesson Standard). These lead to '日常の授業改善や家庭学習・補充学習の充実' (Improvement of daily lessons and enrichment of home and supplementary learning). This leads to the final goal: '確かな学力の育成' (Cultivation of solid academic ability), illustrated with icons of students.</p> </div>						
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査等で全国平均正答率を上回る。同一集団で前年度より得点率が増加する。	教科区分	H30 実績		R1 実績		R2 目標値
			市	全国	市	全国	
		小3 国算	63.4	64.2	64.5	64.9	全国平均以上 前年度より得点率が 増加 ※全国調査はなし
		小4 国算	67.9	68.9	67.8	68.9	
		小5 国算	66.9	66.1	62.1	61.7	
		小6 国算	66.0	65.6	70.6	70.0	
		小3 国算	66.8	65.1	65.6	64.3	
小6 国算	72.4	71.2	73.6	71.9			
小3 国算	71.1	68.2	70.1	67.5			

重点事業 3

事業名	中学校くるめ学力アップ推進事業			担当課	学校教育課		
	新型コロナウイルス感染症に伴い事業の縮小や時期の変更を行う。						
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算		
			32,967 千円	39,010 千円	10,970 千円		
事業目的	生徒の学力向上をめざし、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図る。						
事業内容	<p>① 放課後学習会等を支援するために、学生及び地域の方から学習ボランティアを募り、各中学校に派遣する。</p> <p>② 中学校1校（青陵中）の学力向上実践推進校事業において、学力向上の取組を推進する組織体制や人材育成のあり方について実践研究を行い、効果的な取組を全中学校に拡げる。</p> <p>③ 学力向上コーディネーターを中心に、学力向上に向けた授業改善のための「くるめ授業スタンダード」アドバイザーを招聘した研修会の実施や保護者・地域への啓発や小中連携教育の取組を行う。</p> <p>※ ①2学期より実施 ②実践研究を進めるが、報告会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から規模を縮小して実施 ③5月研修会は代替研修で実施。9月研修会は実施予定</p>						
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査（中3）において全国平均正答率を上回る。	教科 区分	H30 実績		R1 実績		R2 目標値
			市	全国	市	全国	
		中3 国A	73	76.1	70	72.8	全国平均以上 ※全国調査はなし
		国B	58	61.2			
		数A	63	66.1	56	59.8	
数B	42	46.9					

重点事業 4

事業名	小・中学校特別支援教育支援員活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			97,190 千円	104,367 千円	109,725 千円
事業目的	通常学級及び特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒がよりよい学校生活をおくることができるよう、特別支援教育支援員を全小中学校に配置する。				
事業内容	<p>① 特別支援教育支援員を学校に配置し、授業を行う教員の一齐指示だけでは理解したり行動したりすることが難しい児童生徒に対して、補助的な指示や学習活動のサポートなどを行う。また、授業中に教室を離れる児童生徒の居場所の確認や安全の確保、肢体不自由のある児童生徒の移動の際の補助、情緒が不安定な児童生徒にかかわり感情の高ぶりを落ち着かせる支援等を行う。</p> <p>② 特別支援教育支援員の役割や障害種別の特性理解について、講話等の研修を行い、個別の支援の充実を図る。</p>				
事業目標 成果指標	特別支援教育支援員研修会を受講した支援員の研修内容への満足度の向上	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		95.3%	98.3%	前年度以上	

重点事業 5

事業名	発達障害支援事業			担当課	学校教育課
	新型コロナウイルス感染症の影響で、くるめSTP事業は実施しない。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			3,253 千円	3,496 千円	3,453 千円
事業目的	発達障害を有する児童生徒に対する効果的・総合的な支援体制を整備する。				
事業内容	<p>① 相談・支援教室の設置 久留米特別支援学校内に「子ども発達相談教室」を設置し、小学校に在籍する児童を対象にした相談への対応や関係機関とのコーディネートを行う。</p> <p>② くるめサマー・トリートメント・プログラム (STP) の支援 ADHDのある子どもへの包括的な治療プログラムである「くるめSTP」事業の運営補助を行う。</p>				
	<p style="text-align: center;">子ども発達相談教室</p> <p style="text-align: center;">小学生（原則、通常の学級在籍）を対象に</p> <p style="text-align: center;"> 医学的な診断や教育的判断の相談 指導・支援方法について学校へ助言 関係機関へのコーディネート </p> <p style="text-align: center;">小学校</p> <p style="text-align: center;"> 特別支援学校 ↔ 特別支援学級 ↔ 通級による指導 ↔ 通常の学級 </p> <p style="text-align: center;">久留米市立小学校における学びの場</p> <p style="text-align: center;">連携（指導内容、指導方法等）</p> <p style="text-align: center;">くるめサマー・トリートメントプログラム (STP)</p>				
事業目標 成果指標	子ども発達相談教室の相談件数（50件以上）の確保	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		52 件	51 件	50 件以上	

重点事業 6

事業名	外国語指導助手活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			59,098 千円	64,747 千円	72,469 千円
事業目的	小学校外国語活動・外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続をめざすとともに、外国語教育の充実を図り、外国語によるコミュニケーション能力の基礎や素地の育成を図る。				
事業内容	<p>① 中学校の全学年全学級に対し、外国語の年間授業時間 140 時間に対し、25 時間以上 A L T を配置できるよう計画する。</p> <p>② 小学校 3～4 年に対し、外国語活動の年間授業時数 35 時間の内 10 時間以上、また、小学校 5～6 年に対し、外国語の年間授業時数 70 時間の内 28 時間以上に A L T を派遣する。</p> <div style="text-align: center;"> </div>				
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査の 英語(中2)の平均正答 率が全国平均以上	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		市 : 63.1 全国 : 69.0	市 : 62.4 全国 : 69.0	全国平均以上 ※今年度は実施なし	

重点事業 7

事業名	小・中学校英語教育充実事業			担当課	学校教育課
	臨時休校や夏季休業の短縮に伴い「くるめ英語留学体験」等中止する。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			10,916 千円	13,714 千円	25,093 千円
事業目的	英語運用能力の育成や、英語学習に向けての意欲の向上を図る。				
事業内容	<p>① 夏季休業に中学生を対象として、英語だけで生活や学習をする場の設定を行う。</p> <p>② 中学校2年生を対象に、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測る調査（GTEC 検定）を実施する。また、この調査結果を授業改善に生かすための英語授業改善プロジェクトを立ち上げ、生徒の英語力向上に向けた取組を提案する。（今年度のみ中学校3年生も実施予定）</p> <p>③ 小学校については、これまでの外国語教育推進校による実践的な研究と成果の還元を行う。</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、①及び②の中3に対する実施はなし</p>				
	<p style="text-align: center;">小中学校英語教育充実事業</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">小学校</p> <p>これまでの外国語教育推進校による実践的な研究と成果の還元</p> <p>↓</p> <p>久留米市における外国語〔英語〕教育の充実と発展</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">中学校</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>中学生を対象とした3日間のくるめ英語留学・発展コース</p> <p>↓</p> <p>生徒の英語学習に向けての意欲向上や英語運用能力の向上</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>中学2年及び3年生を対象としたGTEC検定の検定料の全額負担</p> <p>↓</p> <p>英語授業改善PJによる授業改善の取組及び英語学習への目標設定のきっかけづくり</p> </div> </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center; background-color: #f08080; padding: 5px;">グローバル化が進む国際社会の中で生き抜くために必要な資質・能力の育成</p>				
事業目標 成果指標	「CEFR A1」相当以上の力を有する生徒の割合が全国と平均以上	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		市 32.9% 全国 23.9%	市 32.0% 全国 25.1%	全国以上	

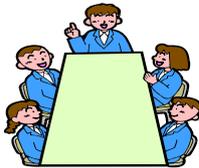
重点事業 8

事業名	教育 ICT 活用事業			担当課	教育 ICT 推進課
	学習者用パソコンの配備の前倒しやGIGAスクールサポーターを配置				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			4,029 千円	11,594 千円	2,962,871 千円
事業目的	<p>新学習指導要領において、情報活用能力が学習の基盤として位置付けられたことを踏まえ、誰ひとり取り残さない個別最適化・協働化された授業を実践するため、児童生徒 1 人 1 台の学習者用パソコンの導入に向けた環境整備及び実証研究に取り組むとともに、インターネットを利用したテレビ会議システムの活用を進める。</p>				
事業内容	<p>① ICT機器を活用した教育活動を推進するため、教育 ICT 活用推進校（小学校 2 校・中学校 2 校）及び教育委員会にタブレット端末 184 台を配備し、教育 ICT 実証校（小学校 1 校・中学校 1 校）250 台の PC と併せて、授業実践と機器等の検証に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用 PC を効果的に活用した授業モデルの構築 ・ 全校への活用事例の周知等 <p>② 文部科学省が進めている GIGA スクール構想における効果的な授業実践についても計画的に行う。</p> <p>③ 児童生徒同士及び教職員等でコミュニケーションの機会を増やすため、小・中・特別支援学校で活用できるテレビ会議システムを配備する。</p>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">“誰一人取り残すことのない” 個別最適化・協働化による質の高い教育活動の実現</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>◇H30.12~R3.12 「教育 ICT 活用推進校」 (小学校2校・中学校2校) による授業実践 ◇R2.4~R3.3 「教育 ICT 実証校」 (小学校1校・中学校1校) による実践検証</p> <div style="display: flex;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【環境整備】 LTE回線を利用 ・H30~R2 タブレット端末 (184台) ・R2年度 ノート型PC (250台) ・充電式保管庫 ※文部科学省が進めている「GIGAスクール構想」における効果的な授業実践を計画的に行う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【取組】 ①学習者用PCを効果的に活用した授業モデルの構築 ②研修会の実施 (全校の教員対象)</p>  </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">◇R1~ 「テレビ会議システム」 の活用</p> <div style="display: flex;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【環境整備】 ・R1年度 インターネット電話サービスを利用したテレビ会議システムの導入</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【取組例】 院内学級児童生徒と在席学校との交流、特別支援学校居住地域との交流、外国語科・外国語活動における交流授業など</p> </div> </div> </div> </div>				
事業目標 成果指標	<p>コンピューター等の ICT を活用した授業を週 1 回以上やっている」と答える児童生徒の割合が増加する。</p>	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		—	<p>小 28.0% 中 25.4%</p>	<p>小 30% 中 30%</p>	

重点事業 9

事業名	小学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課
	感染症対策として生徒指導サポーターを追加配置（15校）				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			12,633 千円	14,993 千円	15,695 千円
事業目的	小学校において、不登校及び不登校傾向、生徒指導上の課題のある児童に対する早期からの支援を充実させることで、不登校や不登校傾向の解消、問題行動の解決を図る。				
事業内容	<p>① 不登校及び不登校傾向児童の解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。</p> <p>② 生徒指導サポーターの主な役割は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校及び不登校傾向のある児童の保護者への家庭訪問や支援 ・ 学級担任と生徒指導担当との連携による児童への支援 ・ 民生委員や児童委員、関係機関等との連携を図ったうえでの保護者や児童への支援 <p>③ 生徒指導サポーター研修会の実施</p> <p>児童の実態や生徒指導サポーターの役割についての講話、各学校の取組の交流などを行い、支援の充実を図る。</p>				
事業目標 成果指標	不登校児童の割合が全国 平均以下	H30 実績		R1 実績	R2 目標値
		市 0.3 全国 0.7	市 0.7 全国 10月予定	全国平均 以下	

重点事業 10

事業名	中学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			29,933 千円	33,064 千円	34,344 千円
事業目的	中学校の不登校及び不登校傾向の生徒に校内の居場所をつくり、生徒指導、進路指導及び学習支援を行うことで、段階的に教室復帰ができるように支援する。				
事業内容	<p>① 全ての中学校に、不登校及び不登校傾向の生徒に校内の居場所をつくるため、校内適応指導教室を設置し、校内適応指導教室助手を配置する。</p> <p>② 適応指導教室では、学習支援を行い生徒の進路獲得をめざすとともに、相談活動を通して生徒のストレスの軽減や不登校の原因を探り、学級復帰への適切な支援を行う。また、生徒・保護者と学校との連携体制づくりの支援にあたる。</p> <p>③ 校内適応指導教室助手を対象とした研修会を行い、実態把握や各学校の取組の交流を通して効果的な適応指導教室の運営を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #c8e6c9;">校内適応指導教室</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #c8e6c9;">校内適応指導教室助手</div> </div> <p style="text-align: center;">不登校生徒に校内での居場所をつくり、学級復帰への支援を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>学校復帰</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>学級復帰</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">学習支援や教育相談活動ができる者として、校長の推薦により教育委員会が認める者</p>				
事業目標 成果指標	不登校生徒の割合が全国平均以下	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		市 3.0 全国 3.8	市 2.9 全国 10月予定	全国平均以下	

重点事業 1 1

事業名	不登校児童生徒対策事業			担当課	青少年育成課
	感染症対策に伴うサマーキャンプ中止、らるご開級式等の規模縮小を実施				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			5,695 千円	6,851 千円	6,851 千円
事業目的	<p>学校に行きたくても行けない児童生徒に対し、適応指導教室「らるご久留米」での様々な体験活動や学習指導、臨床心理士によるカウンセリングを通して、心の安定と心のエネルギーの回復、さらには自信の回復に努めながら学校復帰を促し、社会的自立への支援を行う。</p>				
事業内容	<p>成果指標は、H29：83.3%、H30：58.8%、R1：53.5%となっている。そこで、次年度の成果指標を70%以上とするために、教育相談等をより丁寧に行うと共に学級担任・SSWと連携し、らるご通級を促す。</p> <p>また、体験活動を多く取り入れて成功体験から自信の構築をさせるため、十分な準備をし、新しい体験活動の充実を図っていく。</p> <p style="text-align: center;">社会的自立への支援</p>				
事業目標	通級率 50%を超える通級生の割合	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
成果指標		58.5%	53.5%	70%以上	

重点事業 1 2

事業名	生徒指導充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			14,258 千円	15,166 千円	16,107 千円
事業目的	専任で生徒指導の業務にあたる専任補導教員が配置されていない中学校に対して、担当教員が専任で生徒指導の諸問題への早期対応と解決を図っていくことのできる環境を整備する。また、生徒指導連絡協議会への活動助成を行う。				
事業内容	<p>① 専任補導教員が配置されていない中学校の生徒指導担当教員が、以下に示すような生徒指導上の諸問題に専任で対応できるように非常勤講師を配置する。</p> <p>ア いじめ、不登校の未然防止や早期発見・対応の取組、問題行動の未然防止の取組と問題解消に向けた生徒への対応</p> <p>イ 保護者に対する支援・相談</p> <p>ウ 学校内におけるチーム指導体制の構築・支援</p> <p>エ 関係機関等との密接かつ良好な関係づくり</p> <div style="text-align: center;"> <p>The diagram illustrates the interconnectedness of various stakeholders in student guidance. At the top, three boxes represent '地域' (Community), '家庭' (Family), and '関係機関' (Related Organizations). Below them, a central box represents '生徒指導担当教員' (Student Guidance Staff), which is linked to '学校' (School). Red arrows with the text '密接かつ良好' (Close and Good) point from the top boxes down to the staff box, and from the staff box down to the school box. The '地域' box lists '校区青少年育成協議会', '主任児童委員', and 'コミュニティセンター'. The '家庭' box shows a house icon and lists '保護者に対する支援、相談'. The '関係機関' box shows a school building icon and lists '他の中学校', '児童相談所', '警察署', '家庭裁判所', and '青少年育成課'. The '学校' box lists '生徒への対応' (daily observation and guidance, consultation, understanding of student status, direct guidance for problem behaviors, and truancy response) and '校内体制づくり' (team system construction, support for staff, and staff training).</p> </div> <p>② 生徒の健全育成及び問題行動の防止を図ることを目的に活動する生徒指導連絡協議会に対し、活動助成を行う。</p>				
事業目標 成果指標	生徒 1,000 人当たりの いじめの認知件数が 全国平均以上	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		市 34.2 件 全国 29.8 件	市 集計中 全国 10 月予定	全国平均 以上	

重点事業 13-1

事業名	スクールカウンセラー活用事業 (小・特別支援学校・高校)		担当課	学校教育課	
	臨時休校期間中においても保護者カウンセリングを実施した。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			5,039 千円	3,542 千円	5,659 千円
事業目的	学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別の支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すための支援、また、保護者の不安の解消、医療機関との連携の充実を図る。				
事業内容	<p>① スクールカウンセラーを市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置し、児童生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリング等を行う。</p> <p>② スクールカウンセラーの要請に基づき、小児リエゾンドクターが児童、保護者及び教職員へのカウンセリングを行う。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[月に1~2回程度(1日4時間)学校へ派遣] --> B[市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置 年間20回派遣 西国分小、金丸小、東国分小、御井小、南小、合川小、 特別支援学校、南筑高校 年間10回派遣 上記以外の小学校、久留米商業高校] B --> C[福岡県臨床心理士会より推薦を受けたスクールカウンセラー 又は市が任用するスクールカウンセラー] C --> D[SCの要請に基づき小学校へ派遣] D --> E[小児リエゾンドクター 児童精神科医師1名が対応] E --> A </pre> </div>				
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査(設問がない場合は市学力・生活実態調査)で「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答の割合が全国平均以上	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		市 87.8% 全国 83.3%	市 85.1% 全国 85.8%	全国平均以上 ※今年度は全国・市ともなし	

重点事業 13-2

事業名	スクールカウンセラー活用事業 (中学校)			担当課	学校教育課	
	臨時休校期間中においても保護者カウンセリングを実施した。					
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算	
			11,016 千円	10,724 千円	10,584 千円	
事業目的	学校の教育相談機能を高め、いじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題の解決や発達障害等の教育上特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活へのよりよい適応を促すための支援、また、保護者の不安の解消、医療機関との連携の充実を図る。					
事業内容	<p>① スクールカウンセラーを市立の中学校に配置し、児童生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリング等を行う。</p> <p>② スクールカウンセラーは、毎週1回来校し、生徒・保護者・教職員へのカウンセリングや教育相談及び生徒指導部会等の会議に参加する。</p> <p>③ 県からの配置時間(週8時間4校、週4時間13校)に、本事業による配置(週4時間13校)を合わせて、全中学校に週8時間の配置を行う。</p>					
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">市立中学校におけるスクールカウンセラーの配置状況 (一週当たり8時間×35週)</p> <p>① 市と県による配置校12校 1校当たり(市4H+県4H)×35週 江南中・櫛原中・牟田山中・高牟礼中・明星中・青陵中 荒木中・宮ノ陣中・田主丸中・屏水中・北野中・三潁中</p> <p>② 県による配置校5校 1校当たり(県8H×35週) 城南中・良山中・諏訪中・城島中・筑邦西中</p> <p>③ 県によるスーパーバイザー配置校1校 県4H×3回×35週 諏訪中に配置</p> </div> 					
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査(設問がない場合は市学力・生活実態調査)で「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答の割合が全国平均以上	H29 実績		H30 実績		R1 目標値
		市 85.8% 全国 81.8%	市 80.7% 全国 81.9%	全国学力・学習状況調査	全国平均以上 ※今年度は全国・市ともなし	

重点事業 1 4

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			担当課	学校教育課
	臨時休校期間中においても依頼に応じて家庭訪問に同行した。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			—	—	—
事業目的	学校・家庭・関係機関の協働体制を築くための支援を行い、困難を抱えた児童生徒がおかれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図る。				
事業内容	<p>① 社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有し、福祉サービスについての専門的知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。</p> <p>② スクールソーシャルワーカーの活用によって学校・家庭・関係機関が協働して子どもたちの抱える状況の改善を図る。</p> <p>ア 困難を有する児童生徒について、福祉的な視点からの情報収集</p> <p>イ 課題の分析（アセスメント）</p> <p>ウ 学校との協働による支援計画の作成</p> <p>エ ケース会議開催のための個別的な支援方針や支援内容に係る調整</p> <p>オ 学校、家庭、関係機関等による連携ネットワークの構築および連携のための連絡調整</p>				
	<p>スクールソーシャルワーカーの役割</p>				
事業目標 成果指標	①支援件数 前年度以上	H30 実績		R1 実績	R2 目標値
	②関係機関とのケース会議 前年度以上	① 163 件	② 262 件	① 160 件 ② 188 件	前年度以上

重点事業 15

事業名	学校施設の整備充実事業			担当課	学校施設課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			小 2,250,648 千円 中 113,876 千円	小 700,545 千円 中 50,144 千円	小 2,417,953 千円 中 606 千円
事業目的	児童生徒の安全を確保し、快適な学習環境づくりに向けて、増改築事業等の整備により学校施設の整備充実を図る。				
事業内容	<p>① 校舎等改築事業</p> <p>学校施設の老朽化と学校を取り巻く社会情勢の変化に対応するために、計画的・効率的に改築工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠山小校舎改築事業（グラウンド改修設計、ブロック塀改修） ・京町小校舎改築事業（校舎改築工事） <p>② 校舎増築事業</p> <p>学校規模による特別教室不足及び児童数の増加により、校舎増築を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南小学校校舎増築事業（増築工事、既存校舎改修工事） ・山川小学校校舎増築事業（増築工事、外構工事） ・三潴小学校校舎増築事業（増築工事） ・西国分小学校校舎増築事業（実施設計、増築工事） 				
	 <p>南小完成予定図</p>		 <p>山川小完成予定図</p>		
	令和2年度は、昨年度から工事着工している京町小校舎(改築事業)、南小及び山川小(増築事業)に加え、三潴小及び西国分小の増築工事が着工するため、これまで以上に学校や地域と連携を取りながら事業を進める。				
事業目標 成果指標	各々の事業進捗率の目標値達成	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		<p>◆改築事業</p> <p>日吉(グラウンド設計) 進捗:100%</p> <p>篠山(改築工事) 進捗:100%</p> <p>京町(屋体改築工事) 進捗:100%</p> <p>屏水(旧校舎解体工事、内部改修工事) 進捗:100%</p> <p>◆増築事業</p> <p>南(実施設計) 進捗:100%</p> <p>山川(実施設計) 進捗:100%</p> <p>小森野(基本設計, 実施設計) 進捗:30%</p>	<p>◆改築事業</p> <p>篠山(旧校舎解体) 進捗:100%</p> <p>京町(旧屋体解体工事)(校舎改築工事) 進捗:15.8%</p> <p>屏水(東校舎外壁・防水改修工事等) 進捗:100%</p> <p>◆増築事業</p> <p>南(増築工事) 進捗:30%</p> <p>山川(増築工事) 進捗:19%</p> <p>小森野(基本・実施設計) 進捗:100%</p> <p>三潴(実施設計) 進捗:100%</p> <p>西国分(実施設計) 進捗:50%</p>	<p>◆改築事業</p> <p>篠山(グラウンド設計・ブロック塀改修) 進捗:100%</p> <p>京町(校舎改築工事) 進捗:100%</p> <p>◆増築事業</p> <p>南(増築工事・既存校舎改修工事) 進捗:100%</p> <p>山川(増築工事)進捗:100% (外構工事)進捗:40%</p> <p>三潴(増築工事) 進捗:100%</p> <p>西国分(実施設計) 進捗:100% (増築工事) 進捗:100%</p>	

重点事業 16

事業名	学校施設の長寿命化事業		担当課	学校施設課	
	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業の執行見直し予定				
事業種別 ※以下から選 択 (新規・拡充・継 続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			小 299,572 千円 中 384,185 千円 特 742 千円 高 71,424 千円	小 525,709 千円 中 201,089 千円 特 27,258 千円 高 72,906 千円	小 471,325 千円 中 126,548 千円 高 8,500 千円
事業目的	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政の平準化、環境負荷の低減などを図るため、外壁・防水改修工事等の施設の長寿命化を図る。				
事業内容	<p>令和2年度 学校施設の主な整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎外壁改修工事 2 校(荒木小、※犬塚小、田主丸中) 【設計業務委託 2 校(犬塚小、西牟田小)】 校舎防水改修工事 5 校(善導寺小、明星中、※青峰小、※犬塚小、※三瀨小) 【設計業務委託 1 校(小森野小)】 校舎屋根改修設計業務委託 2 校(犬塚小、西牟田小) 校舎便所改修工事 2 校(西牟田小、安武小) 【設計業務委託 3 校(大橋小、宮ノ陣中、田主丸中)】 屋体外壁改修工事 2 校(※犬塚小、※大善寺小) 屋体防水改修工事 1 校(※犬塚小) 屋体屋根改修工事 3 校(善導寺小、※大善寺小、明星中) 【設計業務委託 1 校(南小)】 剣道場床改修工事 1 校(南筑) グラウンド改修工事 2 校(日吉小、御井小) <p style="text-align: right;">※は設計を含む</p> <p>令和元年度の主な学校施設の整備実績</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外壁改修</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>便所改修</p> </div> </div>				
事業目標 成果指標	外壁改修率及び トイレ改修率の 上昇	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		外壁改修率 (モルタル落下対策) 87.5% トイレ改修率 (校舎ドライ化) 76.5%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 90.0% トイレ改修率 (校舎ドライ化) 77.6%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 91.5%予定 トイレ改修率 (校舎ドライ化) 80.0%予定	

重点事業 17

事業名	教職員研修事業		担当課	教育センター	
	感染症対策により短期・断続研修は中止。基本・課題研修は資料配布や動画作成等で代替実施				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			11,677 千円	13,830 千円	12,691 千円
事業目的	教育の専門家として、自ら学び続ける教職員を育成するために、育成指標に基づくキャリアステージに応じた研修や本市の教育課題に対応した研修を計画的に実施し、教職員の実践的指導力の向上を図る。				
事業内容	<p>(1) 基本研修</p> <p>経験年数や職務に応じた資質能力の向上を図る研修（受講対象者を特定した悉皆研修）</p> <p>① 経年研修（15講座）</p> <p>教育公務員特例法に基づく、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修のほか、経験年数に応じて教職員に必要な知識や技能（実践的指導力）、態度を養うための研修を行う。</p> <p>〈改善点・工夫点〉講義では、国や県の教育の動向に触れるとともに、受講者がより主体的に研修に参加できるように、演習や協議等、内容を吟味し、適宜取り入れる。</p> <p>② 職務研修（8講座）</p> <p>新たに任命された校長、副校長、教頭、主幹教諭等の研修及び新たに発令された主任主事の職務に関する専門的な研修を行い、学校経営能力や当該職務の遂行能力向上を目指す。</p> <p>〈改善点・工夫点〉職務の内容や役割を講義等でさらに明確に示すために、関係各課との連携を密に行う。</p> <p>(2) 課題研修（19講座）</p> <p>教育課題に基づき、各分掌業務を担当する教職員を対象として、職能に応じた専門的な知識・技能の習得と実践的指導力の向上を図る研修</p> <p>〈改善点・工夫点〉社会情勢、教育を取り巻く情勢、市の教育課題を考慮し、内容の精選・重点化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長、副校長、教頭を対象とした管理職研修 ・ 学力向上、いじめ・不登校への対応、安全安心な学校生活の確保など、様々な教育課題の解決を目指した研修 <p>(3) 専門研修</p> <p>① 短期研修（18講座）</p> <p>教科等の学習指導や生徒指導、人権・同和教育、学校運営等、教職員のキャリアステージに応じて専門性を高める研修（希望受講）</p> <p>② 断続研修（研修員12名以内）</p> <p>学力の保障と向上に向けた教育力の育成を目指し、1年間を通じて断続的に授業力を高める研修を行い、各教科・領域における専門的な知識と指導力を持った学び続ける人材を育成する研修</p>				
事業目標 成果指標	研修アンケートで「役にたった」 (大変満足・満足)と回答した者の割合 95%以上		H30 実績	R1 実績	R2 目標値
			97.8%	99.4%	95.0%以上

重点事業 18

事業名	学校における働き方改革推進事業		担当課	教職員課
	感染症対策としてスクールサポートスタッフを全小・中・特支学校に配置			
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算
			2,385 千円	1,269 千円
			R2 予算	2,722 千円
事業目的	<p>学校における働き方改革に係る緊急提言等を受け、勤務時間を意識した働き方改革を進め、教職員の業務改善の取組を推進し、勤務環境の整備のための支援を充実させることで教職員の多忙化解消を図る。ひいては、教員の専門性を高め、より分かりやすい授業を展開するなど教育活動の充実により、より短い勤務で高い成果を維持・向上させることを目的とする。</p>			
事業内容	<p>① 業務改善モデル校事業（平成 30 年度） 小学校 1 校・中学校 1 校で実施（中小企業診断士による実態把握と改善提案）</p> <p>② 学校閉庁日（平成 30 年度～） 夏季休業期間の 8 月 12 日から 16 日を学校閉庁日とする</p> <p>③ 正確な勤務実態の把握（令和元年度～） IC タイムレコーダーの全校設置により、勤務実態の客観的把握</p> <p>④ 先進地視察（令和元年度） 教職員課と校長・教頭で横浜市への視察を行い、各学校での勤務時間外の自動応答メッセージによる電話対応や休憩時間の分割につなげる。</p> <p>⑤ 久留米版スクール・サポート・スタッフ（令和元年度～） 令和元年度に小学校 1 校・中学校 1 校で実施。令和 2 年度は 4 校に拡大</p> <p>参考値 月 80 時間以上の超過勤務を行っている本市の教員の割合（令和元年） 小学校 12.3%、中学校 24.3% 夏季休業中の 8 月を除く 5～12 月平均 （文部科学省による全国平均（H29）は、小学校 33.5%、中学校 57.6%）</p> <pre> graph TD A[久留米市立学校における働き方改革の推進] --> B[小学校長会] A --> C[久留米市立学校における働き方改革推進本部] A --> D[中学校長会] B --> E[勤務実態の正確な把握と長時間勤務是正に向けた数値目標の設定] C --> E D --> E E --> F[久留米市立学校における業務改善方針・計画] F --> G[予算が前提となる取組] F --> H[必ずしも予算が前提とはならない取組] G --> I[①スクール・サポート・スタッフの導入 ②時間外電話対応策(留守番電話設置) ③民間の知見を活用した学校における業務改善(中小企業診断士の活用) 等] H --> J[①自己申告方式によらない勤務実態把握 ②学校閉庁日の設定 ③市教委からの通知文等の精選と通知方法の統一 等] I --> K[具体的な検討] J --> L[具体的な推進] K --> M[部会等：チームリーダー会議、校長・教頭・学校事務職員との合同部会] L --> M </pre>			
事業目標 成果指標	ストレスチェックにおけるストレス要因として事務的な業務量をあげる職員 8%以下	H30 実績	R1 実績	R2 目標値
		13.2%	13.3%	13.0%

重点事業 19

事業名	学校 ICT 環境整備事業			担当課	教育 ICT 推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			110,051 千円	144,030 千円	140,008 千円
事業目的	きめ細やかな学習指導・生徒指導への活用、優れたデジタルコンテンツ(学習教材・指導案)の共有化、データ保護、セキュリティの強化を図る。				
事業内容	<p>1 学校イントラネットの運用、維持管理 インターネットの技術を用いて構築された各学校・教育部を範囲としてデータ通信できる環境の安定的な運用を行い、活用を促進する。</p> <p>(1) 学校における学習指導や家庭学習に役立つ教材等の共有 ア 学習指導案や ICT 教材等を保存し、学習指導に役立てる。 〈改善点・工夫点〉これまでに、調査研究班で作成した ICT 教材について広報し、積極的な活用を図る。 イ 補充教材を保存し、補充学習や家庭学習に役立てる。</p> <p>(2) 教職員研修教材の発信 教育センターにおける調査研究の成果物や研修教材、外部講師の講話資料等を保存し、校内研修での活用を促進する。 〈改善点・工夫点〉調査研究の成果物は、集合研修の講義の際に内容に触れたり紹介したりする。</p> <p>2 校務支援等システムの運用保守 児童生徒一人一人の情報(成績処理・日常所見等の教務関連事務、転出入・出欠管理等の学籍関連事務、指導要録、健康観察等の保健関係事務)をデータベース化し、学習指導や生徒指導に活用する。</p> <p>3 学校サーバー一元化の運用、保守 データの保護、セキュリティの強化のために一元化した学校サーバの安定的な運用、保守を行う。</p>				
事業目標 成果指標	①学校イントラネット 共有化指導案総数 437 件以上 ②校務支援等システム 支援件数 1 日平均 24 件以下	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		① 指導案数 年 87 件 総数 280 件 ② 26.42 件	① 指導案数 年 51 件 総数 331 件 ② 26.42 件	① 指導案数 年 106 件 総数 437 件 ② 24 件以下	

重点事業 20

事業名	小・中学校コミュニティ・スクール (久留米版) 推進事業		担当課	学校教育課	
	感染症対策のため、地域や保護者の協力による消毒作業等に要する経費として、提言分の補助金を全校へ交付した。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			27,852 千円	26,839 千円	26,835 千円
事業目的	学校・家庭・地域が協働して行う様々な体験活動や教育活動を充実するための支援を行うことで、地域の教育力を学校運営に取り入れ、地域とともにある学校づくりを推進する。				
事業内容	<p>① 社会に開かれた教育課程の実現のため、地域人材の活用や地域での体験活動の充実を図り、学校規模に応じた補助金の交付を行う。</p> <p>② 各学校の教育課題に対し、家庭・地域と協働して解決に取り組めるよう地域学校協議会から学校・家庭・地域それぞれに提言を行い、それを実働化させるための地域学校協議会プランの計画内容に応じた補助金の交付を行う。</p> <p>③ 地域学校協議会会長等研修会を行い、地域学校協議会に期待される役割や各学校の実践交流を通して、学校・家庭・地域が連携・協働した活動の充実を図る。</p>				
事業目標 成果指標	各学校の地域学校協議会提言の達成率が前年度以上	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		74.2%	75.5%	前年度実績以上	

重点事業 2 1

事業名	人権教育・啓発推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			7,110 千円	7,110 千円	7,110 千円
事業目的	<p>自他の人権を守り、差別をなくす意志と実践力を身に付け豊かな人権感覚をもった市民・児童生徒の育成を図るために、学園コミュニティ（保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校他）及び地域コミュニティ（家庭、小学校区人権啓発推進協議会、企業他）が連携・協働し、地域の実態や課題に応じた人権教育・啓発活動を推進する。</p>				
事業内容	<p>① 児童生徒一人ひとりの進路・学力の保障、人権尊重の理念の理解・体得を図るために、学園コミュニティでの取組（校種間の連携の中で、連絡会・授業公開・実践レポート交流会・人権カリキュラムの検討・研修会等の開催）への支援を行う。</p> <p>② 地域コミュニティが行う（家庭、地域住民、企業等が参加する人権講座等の開催）への支援を行う。</p> <p>③ 同和問題、女性、障害者、外国人、LGBT等の人権課題を解消する主体者を育成するために、学園コミュニティと地域コミュニティとが協働して行う取組（人権フェスタ、人権講座、人権フィールドワーク等）への支援を行う。</p> <div style="text-align: center;"> <p>行政</p> <p>支援・指導・補助</p> <p>中学校区人権のまちづくり推進協議会</p> <p>学園 保・幼・小・中・ 特支・高など</p> <p>協力・連携</p> <p>地域 家庭・校区人権協 企業など</p> </div>				
事業目標 成果指標	各中学校区人権のまちづくり推進協議会の活動の活性化を図り、「差別をなくす努力をする」市民の割合 50% 以上	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		40.0% 【参考】 市民意識調査	46.6% 【参考】 くるモニ	50%以上 【参考】 市民意識調査	

重点事業 2 2

事業名	食育プログラム研究推進事業			担当課	学校教育課
	感染症の影響により親子料理教室は中止し、食育推進校の取組は延期した。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			652 千円	900 千円	882 千円
事業目的	子どもたちに食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的な生活習慣を育成する。				
事業内容	<p>① 久留米市栄養教諭・学校栄養教員等の取組を生かし、充実発展させるために、以下の取組を行い、食育プログラムの研究の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝食摂取や栄養バランスのよい食事など食に関する授業の充実 食に関する講演会の実施 よりよい食生活を築くための情報を掲載したチラシ作成・配布・啓発 食への関心を高める親子料理教室の開催→コロナによる影響で中止 児童生徒の食に関する実態の調査・分析研究 栄養教諭等が未配置の中学校への出前授業 <p>② 食育推進校の PTA を中心に行う食育の取組をさらに充実発展させるため、以下の取組を行い、朝食欠食率の減少に向けた啓発の促進をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育推進校のポスター設置 子ども及び保護者への意識調査と分析、結果の公表 生活リズムカードの実施 食育に係る講演会の実施 				
	<div style="text-align: center;"> <p>食に関する知識と望ましい食習慣と基本的な生活習慣を身につけた子ども</p> <p>The diagram illustrates the implementation of nutrition education. On the left, the 'Nutrition Education Research Association' (栄養教諭等研究会) provides guidance, surveys, and out-of-school lessons to children and families. On the right, 'Schools for Nutrition Education Promotion' (食育啓発促進校) in 7 elementary and middle schools conduct activities like rhythm cards, surveys, and posters. Both sides aim to educate children, families, and the community.</p> </div>				
事業目標 成果指標	朝食を食べない児童生徒の割合（朝食欠食率）が前年度以下	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		小学校 1.9% 中学校 2.8%	小学校 1.4% 中学校 2.6%	前年度実績以下	

重点事業 2 3

事業名	医療的ケア対応事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			30,143 千円	28,612 千円	29,285 千円
事業目的	久留米特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するために、看護師を配置し、医療機関と連携した吸引・経管栄養・導尿等を実施することによって、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。				
事業内容	<p>① 久留米特別支援学校に在籍し、医療的ケア（吸引・経管栄養・導尿等）を必要とする児童生徒を対象とする。（令和2年度16人）</p> <p>② 業務委託によって事業所から看護師を派遣する。（令和2年度：8時間配置1人・6時間配置5人・4時間配置1人・2時間配置5人の計12人を配置）</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">医療的ケア対応事業</p> <p>指導医の委嘱 4H×3回 医療的ケアの技術、環境への助言</p> <p>指導医の配置 看護師派遣</p> <p>助言 ケア</p> <p>対象</p> <p>特別支援学校に在籍する医療的ケアの必要がある児童生徒</p> <p>学校生活への支援</p> <p>学級担任 連携 連携 保護者</p> <p>○ 給食時の経管栄養への対応 ○ 痰の吸引への対応</p> <p>学習活動等の連絡 児童生徒の体調等の状況</p> <p style="text-align: center;">学校生活への適応</p> <p>事業所による看護師派遣 1日8H1人 6H5人 4H1人 2H5人 年間215日程度</p> </div>				
事業目標 成果指標	医療的ケアを必要とする児童生徒のニーズに対応できる看護師を配置する	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		必要数12人 配置数12人	必要数9人 配置数9人	必要数12人 配置数12人	

重点事業 2 4

事業名	中学校美術教育振興事業			担当課	学校教育課
	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			2,204 千円	2,772 千円	2,968 千円
事業目的	中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育む。				
事業内容	<p>久留米市美術館における企画展・常設展の鑑賞のために、各中学校第1学年の生徒に対して、バスの借り上げを行う。事業の実施に当たっては、生徒アンケートや感想等を学校だより等で紹介し、効果の波及に努める。</p>				
	<div style="text-align: center;"> <p>中学校美術教育振興事業</p> </div>				
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査(中2)において「久留米の自然や文化、人々について学ぶことは好きである」の肯定的回答の割合の増加	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		68.5%	71.5%	前年度以上 ※今年度は実施なし	

重点事業 25

事業名	学校規模対策事業			担当課	学校教育課																																																																						
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	H31 予算	R2 予算																																																																						
			4,389 千円	10,585 千円	5,127 千円																																																																						
事業目的	久留米市立小学校小規模化対応方針（平成30年10月策定）に基づき、複式学級の回避・解消を目的とした小学校の統合を進めるための協議・調整を行う。																																																																										
事業内容	<p>① 統合の対象地域の保護者や地域と統合に向けた率直な意見交換を行う。</p> <p>② 将来の児童数の推計等の結果をもとに、今後の対応を検討する。</p> <p>小学校の統合は、複式学級校（2校）を最優先の対象校とし、「第1次久留米市立小学校統合基本計画」を決定する。</p> <p>第1次久留米市立小学校統合基本計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>統合の対象校</th> <th>統合の組み合わせ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浮島小学校</td> <td rowspan="2">両校とも城島小学校に統合</td> </tr> <tr> <td>下田小学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 小規模校の対策として、市内4小学校において、小規模特認校制度を運用し、最寄りの駅から学校間の通学支援を行う。</p> <p>市立小学校（46校）学校規模別分布状況（R2.5.1現在）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>過小規模校（2）</td> <td>浮島</td> <td>下田</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">小規模校 （18）</td> <td>草野</td> <td>大橋</td> <td>柴刈</td> <td>青峰</td> <td>金島</td> <td>水分</td> </tr> <tr> <td>船越</td> <td>青木</td> <td>川会</td> <td>竹野</td> <td>弓削</td> <td>江上</td> </tr> <tr> <td>山本</td> <td>荘島</td> <td>水縄</td> <td>大城</td> <td>城島</td> <td>京町</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">標準規模校 （19）</td> <td>田主丸</td> <td>西牟田</td> <td>安武</td> <td>御井</td> <td>小森野</td> <td>犬塚</td> </tr> <tr> <td>善導寺</td> <td>長門石</td> <td>三瀧</td> <td>宮ノ陣</td> <td>南薫</td> <td>山川</td> </tr> <tr> <td>大善寺</td> <td>鳥飼</td> <td>北野</td> <td>篠山</td> <td>日吉</td> <td>高良内</td> </tr> <tr> <td>東国分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大規模校（5）</td> <td>津福</td> <td>金丸</td> <td>上津</td> <td>合川</td> <td>荒木</td> <td></td> </tr> <tr> <td>過大規模校（2）</td> <td>西国分</td> <td>南</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>過小規模校（学級数=5学級以下）、小規模校（学級数=6～11学級）、標準規模校（学級数=12～18学級）、大規模校（学級数=19～30学級）、過大規模校（学級数=31学級以上）</p>					統合の対象校	統合の組み合わせ	浮島小学校	両校とも城島小学校に統合	下田小学校	過小規模校（2）	浮島	下田					小規模校 （18）	草野	大橋	柴刈	青峰	金島	水分	船越	青木	川会	竹野	弓削	江上	山本	荘島	水縄	大城	城島	京町	標準規模校 （19）	田主丸	西牟田	安武	御井	小森野	犬塚	善導寺	長門石	三瀧	宮ノ陣	南薫	山川	大善寺	鳥飼	北野	篠山	日吉	高良内	東国分						大規模校（5）	津福	金丸	上津	合川	荒木		過大規模校（2）	西国分	南				
	統合の対象校	統合の組み合わせ																																																																									
浮島小学校	両校とも城島小学校に統合																																																																										
下田小学校																																																																											
過小規模校（2）	浮島	下田																																																																									
小規模校 （18）	草野	大橋	柴刈	青峰	金島	水分																																																																					
	船越	青木	川会	竹野	弓削	江上																																																																					
	山本	荘島	水縄	大城	城島	京町																																																																					
標準規模校 （19）	田主丸	西牟田	安武	御井	小森野	犬塚																																																																					
	善導寺	長門石	三瀧	宮ノ陣	南薫	山川																																																																					
	大善寺	鳥飼	北野	篠山	日吉	高良内																																																																					
	東国分																																																																										
大規模校（5）	津福	金丸	上津	合川	荒木																																																																						
過大規模校（2）	西国分	南																																																																									
事業目標 成果指標	小規模化や大規模化が進む学校における学校規模の適正化に向けた対策を進める	H30 実績	R1 実績	R2 目標値																																																																							
		「久留米市立小学校小規模化対応方針」の策定	・保護者、地域との協議 ・児童生徒数等調査分析	「第1次久留米市立小学校統合基本計画」決定																																																																							

重点事業 26

事業名	地域生涯学習振興事業（委嘱学級）		担当課	生涯学習推進課	
	感染症の影響で事業開始は6月からとし、事業実施は各校区の判断とした。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			7,315 千円	7,505 千円	7,410 千円
事業目的	市民が暮らす一番身近な地域である校区を単位として、教養の向上、健康福祉の増進、人権・同和問題や男女共同参画、環境、防災等の市民ニーズや地域課題に応じた生涯学習活動を推進し、事業を通じた地域コミュニティづくりを図るため、校区コミュニティ組織に対して、委嘱学級の運営に係る財政支援や指導者養成などの支援を行う。				
事業内容	<pre> graph TD A[市] -- "運営支援・開設支援 1学級あたり 95,000 円補助" --> B[校区コミュニティ組織] B --> C[委嘱学級] </pre>				
	<p>全46校区の開設に向けて、取り組みを進めており、開設校区増に努めてきた。さらに校区や市民の方に拡げていくためにも、<u>未開設校区の働きかけや校区訪問・学級訪問等</u>を実施し充実させていく。</p> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学習時間 年間12回（1回2時間程度） ◆学級編成 1学級15人以上（<u>新入生1名以上</u>） <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり学級 ・家庭教育学級 ・高齢者学級・女性学級 など <p>【学習単元】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題（必修） ・男女共同参画（必修） ・健康課題 ・ボランティア ・地域課題 ・福祉課題 ・環境課題 ・防災 など <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営支援・開設支援：1学級あたり79,000円 ・学級：学習時間 年間6回以上（1回2時間以内） ・学級編成 1学級15人以上が望ましい（新入生加入に努める） ・学習単位：人権・同和研修及び男女共同参画（できるだけ実施） 				
事業目標 成果指標	校区開設学級の増加	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		77 学級	75 学級	78 学級	

重点事業 27

事業名	体験活動推進事業（少年の翼事業）			担当課	生涯学習推進課									
	感染症の影響により令和2年度事業は中止する。													
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・ 継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算									
			2,856 千円	2,900 千円	2,900 千円 補正後 0 千円									
事業目的	次代を担う子どもが集い、沖縄での本研修を中心に数回の研修を通じて友情を深めながら、団体生活の楽しさを学び、団体や地域の活動に積極的に参加する子どもを育成することを目的とする。また、青年ボランティアの発掘及び機会提供を行い、次世代リーダー育成を促進する。													
事業内容	<table border="1"> <tr> <th>①指導員募集</th> <th>②研修生(子ども)募集</th> <th>③指導員研修</th> </tr> <tr> <td>3月中旬～ 4月下旬</td> <td>4月中旬～ 5月上旬</td> <td>5月下旬～ 6月下旬</td> </tr> <tr> <td>対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度</td> <td>対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度</td> <td>● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習</td> </tr> </table>					①指導員募集	②研修生(子ども)募集	③指導員研修	3月中旬～ 4月下旬	4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬	対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度	対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度	● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習
	①指導員募集	②研修生(子ども)募集	③指導員研修											
3月中旬～ 4月下旬	4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬												
対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：25名程度	対象：小学5年生～ 中学生 人数：70名程度	● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習												
<table border="1"> <tr> <th>④事前研修</th> <th>⑤本研修</th> <th>⑥事後研修</th> </tr> <tr> <td>7、8月(3日) 市内</td> <td>8月(4泊5日) 沖縄</td> <td>9月(1日) 市内</td> </tr> <tr> <td>● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 沖縄についての学習</td> <td>● 地元小学校との交流 ● 沖縄の海での自然体験 ● ひめゆりの塔での平和学習 ● 琉球ガラスコップの製作体験</td> <td>● ふりかえり</td> </tr> </table>					④事前研修	⑤本研修	⑥事後研修	7、8月(3日) 市内	8月(4泊5日) 沖縄	9月(1日) 市内	● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 沖縄についての学習	● 地元小学校との交流 ● 沖縄の海での自然体験 ● ひめゆりの塔での平和学習 ● 琉球ガラスコップの製作体験	● ふりかえり	
④事前研修	⑤本研修	⑥事後研修												
7、8月(3日) 市内	8月(4泊5日) 沖縄	9月(1日) 市内												
● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 沖縄についての学習	● 地元小学校との交流 ● 沖縄の海での自然体験 ● ひめゆりの塔での平和学習 ● 琉球ガラスコップの製作体験	● ふりかえり												
<p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffffcc;"> 研修生(子ども) ★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力 ★ 自ら考え行動する自立心 ★ 新しいことに挑戦する意欲 ★ 仲間を思いやれる優しさ ★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;"> 指導員 ★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得 ★ 指導者としてのスキルの習得 ★ 幅広い交友関係の構築 ★ 地域活動への貢献 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;"> 今後の改善・工夫点 ・ 研修生の自立心、チャレンジ精神を育むための研修プログラムの構築支援。 ・ 研修生及び指導員が参加しやすい研修日程の検討。 </td> </tr> </table>					研修生(子ども) ★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力 ★ 自ら考え行動する自立心 ★ 新しいことに挑戦する意欲 ★ 仲間を思いやれる優しさ ★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性	指導員 ★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得 ★ 指導者としてのスキルの習得 ★ 幅広い交友関係の構築 ★ 地域活動への貢献	今後の改善・工夫点 ・ 研修生の自立心、チャレンジ精神を育むための研修プログラムの構築支援。 ・ 研修生及び指導員が参加しやすい研修日程の検討。							
研修生(子ども) ★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力 ★ 自ら考え行動する自立心 ★ 新しいことに挑戦する意欲 ★ 仲間を思いやれる優しさ ★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性														
指導員 ★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得 ★ 指導者としてのスキルの習得 ★ 幅広い交友関係の構築 ★ 地域活動への貢献														
今後の改善・工夫点 ・ 研修生の自立心、チャレンジ精神を育むための研修プログラムの構築支援。 ・ 研修生及び指導員が参加しやすい研修日程の検討。														
事業目標 成果指標	参加者の地域や学校等行事への参加意欲度 指導員の事業継続参加意欲度 次年度実施に向けた実行委員会の開催	H30 実績 参加者 96% 指導員 62%	R1 実績 参加者 94% 指導員 75%	R2 目標値 参加者 95% 指導員 75% 委員会 2回										

重点事業 28

事業名	歴史資料保存活用事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			8,978 千円	12,890 千円	10,477 千円
事業目的	歴史資料の保存と活用を進めることにより、市民がふるさとの歴史や風土など地域の歴史文化を学び、生涯を通じた学習の素材として活用し、郷土愛の醸成と、地域文化の未来への継承を図る。				
事業内容	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 歴史資料の保存と活用 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>① 地域の歴史や文化を学ぶための資料の調査・収集を行い、保存・修復及び、適正な収蔵・保管に努める</p> <p>② 収蔵資料を効果的に活用するため、展示・公開を図ることにより、郷土の歴史に関する市民の意識高揚を図り、地域文化の継承に役立てる</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e6e6fa; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 地域の歴史と文化の理解 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>学校と連携し、むかしの暮らしを学び、久留米の成り立ちや風土を考える機会となる企画展を実施する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>生涯学習の一環として、既存の展示スペースを使用して久留米の歴史を学ぶ企画展を実施する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>発掘調査や歴史資料の収集等による資料を整理・保存・管理・活用し、地域の文化を次世代につなぐ一助とする。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>今後の改善項目 学校現場や地域との連携を強化し、情報発信、資料の貸し出し等の利用を増やしていく。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 2px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; width: 100%;"> 郷土愛の醸成と地域文化の未来への継承 </div> </div> </div>				
事業目標 成果指標	歴史資料の調査・保存・修復・収集・購入 歴史資料の活用 収蔵施設の整備 歴史資料のデータベース化	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		企画展を 2 回実施。 特別展を 1 回実施	企画展を 3 回実施	企画展を 2 回実施する。 企画展の内容充実	

重点事業 29

事業名	筑後国府跡歴史公園整備事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			9,690 千円	53,564 千円	6,000 千円
事業目的	古代の役所跡である筑後国府跡を保存整備し、市民が身近な場所で歴史を感じるにより、地域・久留米市に対する愛着心を高めるとともに、文化財としての価値と魅力を未来に向けて継承する。				
事業内容	<p>① 史跡の適正な管理を通じてその保存を図る。維持的措置として草刈り・清掃・見回り等を実施し、また、災害等に際して復旧作業を行うなど保存的措置を講じる。</p> <p>② 令和元年度に策定した『保存活用計画』に則り、計画的な土地の公有化を推進するとともに、整備基本計画の検討を行い、早期の歴史公園化を目指す。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[史跡の保存] --> B[史跡の保護] C[史跡の活用] --> B B --> D[国指定史跡 筑後国府跡の価値と魅力を未来へ伝える] </pre> <p> 史跡の保存 ・草刈り業務等による適正な管理 ・公有化の推進 ・保存活用計画の認定 </p> <p> 史跡の活用 ・ホームページ等による情報発信 ・歴史公園整備基本計画の検討 ・基本計画策定委員会の検討 </p> <p> 史跡の保護 歴史公園を整備することにより、憩いの場・地域活動の場・生涯学習の場・学校教育の場・歴史体験（探検）の場などを提供し、ライフステージのあらゆる場面での活用を図る。 </p> <p> 国指定史跡 筑後国府跡の価値と魅力を未来へ伝える </p> </div>				
事業目標 成果指標	・Ⅱ期政庁地区内の用地交渉の継続 ・草刈り等管理業務の実施 ・文化財保護法に基づく保存活用計画の認定	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		・物件調査等1件実施 ・管理業務の実施 ・保存活用計画策定着手	・公有化率 85.71→86.16% ・管理業務の実施 ・保存活用計画書刊行	・物件等調査実施の承諾1件以上 ・管理業務の実施 ・保存活用計画書認定	

重点事業 30

事業名	歴史ルートづくり事業			担当課	文化財保護課
	高良山の歴史と歴史遺産の活用をテーマにシンポジウムは令和3年度延期 久留米入城400年実行委員会の立ち上げを中止し、実施主体を市とする。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			14,692 千円	21,345 千円	18,130 千円
事業目的	久留米市内に数多く存在する歴史・文化遺産を整理・集積し、積極的な情報発信を行うことで、その魅力について市民への再発見を促すとともに、交流人口の増加を目指す。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史・文化遺産などのスポットについて、久留米ならではの魅力が際立つものを、時代・歴史的背景・伝承などの共通項目(=テーマ)で結びつけ、興味を引くようなストーリーとして組み立てる。 ○ それらのストーリーを構成する各スポットを紹介するイベント等を通じ、久留米の歴史の魅力を伝え集客につなげる。 ○ また、エリア内の歴史遺産の調査を推進し、基礎資料を作成するとともに歴史的背景の検証によるエリア固有のストーリーの充実を図る。 ○ 併せて、ストーリーの要所となるスポット拠点、及びスポット間の行程の整備を行い、安全安心なルートを確認する。 ○ 令和元年度は、国重要文化財の指定を受けた有馬家霊屋を擁する梅林寺をテーマに、歴史ストーリーをまとめたストーリーシートを作成し、そのストーリーに基づいて「令和の香りとともに迎える梅林寺400年」と題したイベントを企画した。(コロナウイルス対策のため延期) また、大善寺の国指定史跡御塚・権現塚古墳を中心としたストーリーシート「水沼の君の時代」も併せて作成した。 ○ 本年度も、市内の歴史遺産についての情報発信のため、ストーリーシートの作成と前年度延期した梅林寺のイベントの開催を予定している。 ○ 令和3年度の、大名有馬家久留米入城400年という歴史的節目を、「歴史のまち久留米」を広くPRする好機ととらえ、実行委員会を立ち上げ、機運醸成を図っていく。 ○ 本市の文化財マスタープランとして計画的かつ持続的な歴史や文化のまちづくりの実現を目的とした「文化財保存活用地域計画」を策定する。 				
事業目標 成果指標	・令和2年度までに歴史関連イベントでの集客5,000人 ・令和7年度までに新規に情報発信した歴史スポット数180箇所	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		歴史ルートを活用したイベント等による集客 実績 3,853 名	歴史ルートを活用したイベント等による集客 実績 3,387 名	ストーリーシート作成1件 入城400年実行委委員会立ち上げ	

重点事業 3 1

事業名	MICE誘致推進事業			担当課	体育スポーツ課
	東京 2020 オリンピック・パラリンピックの1年延期に伴い、ケニア共和国及びカザフスタン共和国の事前キャンプの実施を延期した。				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			18,817 千円	57,392 千円	100,000 千円 補正後 6,629 千円
事業目的	令和3年に開催延期となった東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた機運を醸成するとともに、スポーツによる地域活性化を目的に、全国・九州規模のスポーツ大会の誘致や事前キャンプ誘致を推進する。				
事業内容	<p>① 東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021年に延期が決定したオリンピック・パラリンピックの事前キャンプ受入れに向けて、ケニア及びカザフスタンと詳細について協議を進める。 2021年に向けて市民の機運を醸成する事業を推進する。 2021年の大会以降のレガシーとなるよう交流事業等に取り組む。 				
	 <p>事前キャンプ応援グッズの販売</p>	 <p>陸上ケニア選手と中学生の交流</p>			
事業内容	<p>② 大規模スポーツ大会誘致</p> <p>久留米アリーナをはじめとしたスポーツ施設を最大限活用し、競技団体等とともに大規模スポーツ大会の誘致を進める。</p>				
	 <p>平成30年にオープンした久留米アリーナ</p>				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの実施、機運醸成 大規模大会の誘致 	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> カザフスタンキャンプ基本合意 全国グランドゴルフ誘致等 	<ul style="list-style-type: none"> ケニア共和国との交流 (スポーツ・教育) 	<ul style="list-style-type: none"> 東京 2020 五輪・パラリンピック関連事業 大規模大会誘致 	

重点事業 3 2

事業名	子どもの読書環境整備事業		担当課	中央図書館								
	感染症の影響により利用時間を短時間（30分以内）に制限、ブックスタートを個別配布式に変更、おはなし会・おはなしコーナー中止など、図書館サービスの利用制限を実施した。											
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R01 予算	R02 予算							
			5,411 千円	5,857 千円	5,977 千円							
事業目的	<p>① 久留米市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもが読書を通じて豊かな生活を送れるよう読書習慣の定着を進めるための環境を整備する。</p> <p>② 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長などにも効果があるブックスタート事業を実施する。</p>											
事業内容	<p>計画の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭・地域、学校等、行政の連携・協働の推進 2. 子どもの読書活動のための環境整備の充実 3. 子どもの読書活動推進を支える理解と関心の普及・促進 <p>5 2 の施策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>家庭・地域</th> <th>幼稚園・保育所 認定こども園</th> <th>学校</th> <th>図書館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)</td> <td>読み聞かせ実施 絵本スペース整備等 (3 項目)</td> <td>読書活動の推進 司書教諭・学校司書の配置及び研修充実等 (5 項目)</td> <td>児童図書整備 読書が困難な子どもへのサービス 読書相談カウンター設置等 (29 項目)</td> </tr> </tbody> </table>				家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学校	図書館	ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)	読み聞かせ実施 絵本スペース整備等 (3 項目)	読書活動の推進 司書教諭・学校司書の配置及び研修充実等 (5 項目)	児童図書整備 読書が困難な子どもへのサービス 読書相談カウンター設置等 (29 項目)
	家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学校	図書館								
ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)	読み聞かせ実施 絵本スペース整備等 (3 項目)	読書活動の推進 司書教諭・学校司書の配置及び研修充実等 (5 項目)	児童図書整備 読書が困難な子どもへのサービス 読書相談カウンター設置等 (29 項目)									
<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">子どもの読書活動を社会全体で支えていく</p> <p style="text-align: center;">第4次子どもの読書活動推進計画の実施（R2～R7）</p> <p>令和元年度は、家庭・地域及び学校等と連携した子ども読書推進のため、おすすめ本貸出セット整備、ブックリスト作成、絵本講座の実施等による家読の支援を行った。また、第4次子どもの読書活動推進計画を策定し、令和2年度から第4次計画に取り組む。</p>												
事業目標 成果指標	児童図書数 265,000 冊	H30 実績	R01 実績	R02 目標値								
		256,139 冊	260,830 冊	265,000 冊								

重点事業 3 3

事業名	図書館整備事業			担当課	中央図書館
	感染症の影響により利用時間を短時間（30分以内）に制限、学習室・休憩コーナー、シネマ上映会を中止するなど図書館サービスの利用制限を実施				
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	H30 決算	R1 予算	R2 予算
			58,146 千円	63,772 千円	106,026 千円
事業目的	快適な読書空間の提供と図書館機能の充実に向け、その基盤整備及び利用者サービスを図り、生涯学習ニーズに対応する。				
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 図書館整備・図書館資料の充実 </div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館施設・機能の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全確保、長寿命化及び備品の整備 ・資料の購入：図書及びAV 約25,500点 雑誌 約800点 ○読書バリアフリー法を踏まえた市民との協働による視覚障害者等を支援するサービスの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの協働→音訳点訳図書の製作やサピエ活用、対面朗読の実施 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ◎図書館サービスの充実 ◎利用者・貸出冊数の増加 </div> <p>令和元年度は、福祉ボランティアとの協働により、継続して音訳図書や点訳図書を作成し、視覚障害者等への読書支援を行った。また、JR久留米駅への本の返却ポストの設置や本の有料宅配サービスの実施に加え、六ツ門図書館の休館日を水曜日に変更し、月曜日開館とした。令和2年度は、中央図書館の窓口集約化工事の実施に伴い、読書相談コーナー等を設置しサービスを拡大する予定である。さらに、図書館来館困難者サービスとしての移動図書館や団体貸出についても効果的な活用を行っていく。</p>				
事業目標 成果指標	貸出者数：360,000人 貸出冊数：1,470,000冊 (市民センター図書室等を含まない)	H30 実績	R1 実績	R2 目標値	
		380,959人 1,487,920冊	367,607人 1,414,135冊	360,000人 1,470,000冊	